

年 報

2019 年度（令和元年度）

No.22

長野県立歴史館



目次

概要

I	沿革	1
1	開館までの歩み	
2	開館後の歩み	
II	機能・組織・運営	7
1	機能	
2	組織と分掌	
3	運営	
4	関係法規	
III	施設	16
1	平面図	
2	諸室	

事業

I	令和元年度の主な事業実績	18
II	展示	19
1	常設展示	
2	企画展示等	
III	教育普及公開	37
1	学校・団体見学 実施記録	
2	企画展関連講演会等	
3	講座	
4	考古学セミナー	
5	近世史セミナー	
6	講習会	
7	各種講習会・イベント	
8	展示解説	
9	学校との連携	
10	博物館実習	
11	インターンシップ	
12	職場体験学習	
13	サークル育成活動	
14	ボランティア活動	
15	博物館関係職員等研修会	
16	職員派遣	

IV	共催事業	62
V	出版	63
	1 長野県立歴史館たより	
	2 研究紀要	
	3 その他	
VI	閲覧・情報提供	65
	1 図書等資料	
	2 情報提供	
VII	調査研究	66
	1 調査研究の体制と内容	
	2 学芸研究会	
	3 時代別研究会	
VIII	資料の収集・整理・保存	68
	1 資料収集の方針	
	2 展示資料	
	3 考古資料	
	4 文献史料	
IX	広報	76
	1 広告・案内	
	2 記事・報道	
資料		
I	資料利用	83
II	閲覧利用・情報利用	83
III	利用者	83~87
IV	収蔵史資料数	87
日誌		88・89

一 概 要

I 沿 革

1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63） 4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
- 1989年（平成元） 7月……懇話会が報告書を提出
- 1990年（平成2） 10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
11月……建設基本構想骨子決定
- 1991年（平成3） 4月……開館準備専任職員配置
5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
- 1992年（平成4） 9月24日…起工式
- 1994年（平成6） 5月……建設工事完成
8月……展示工事完成
11月 3日…開館

2 開館後の歩み

1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度

やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）

- 7月 夏季企画展「絵図にみる信濃」
8月 特別展示「終戦日8月15日の長野県民」
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度

新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施

- 7月 夏季企画展「縄文人の一生」
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃」

1997年 1月 館蔵品展

1997（平成9）年度

9月に館燻蒸を初めて実施

- 7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会」
8月 長野県立歴史館ホームページ開設
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化」

1998年1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度

古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。

- 6月 屋代木簡特別展示
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具」
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度

やさしい信濃の歴史講座（「やさしい信濃の歴史学習会」を改称）、考古学講座（「考古資料講座」を改称）。歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館蔵品展

- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年記念特別展「信濃名宝展」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡」
- 11月 開館5周年記念式典挙行
- 2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器」

2000（平成12）年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画。

- 7月 木曾セミナー
夏季企画展「千曲川歴史紀行」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち」
- 12月 長野県人権啓発センター開設（講堂棟）
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」
ホームページ全面更新 独自ドメイン (www.npmh.net) 取得

2001（平成13）年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」
諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう」

- 2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」

2002（平成14）年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」
北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と間宿－」

- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」

2003（平成15）年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館としてはじめてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOSふるさとの文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」
上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」
同時開催「ヒロシマ・ナガサキ原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」（共催事業）

2004（平成16）年度

開館10周年の節目の年にあたり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ（「人と物の交流」）を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い人々の祈り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典
夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2004」（共催事業）

2005 (平成17) 年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

- 5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀—GHQ接收刀剣の輝き—」
- 7月 夏季企画展「地下4mの縄文伝説—屋代遺跡群 愛と出会い4千年—」
飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか
- 10月 秋季企画展「信州舞台物語—団十郎も須磨子もやってきた—」
- 11月 特別公開「六角木幢—極楽浄土への道しるべ—」(共催事業)
- 2006年1月 特別公開「雛人形と雑道具—身だしなみとよそおい—」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2006」(共催事業)

2006 (平成18) 年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産I」を初めて開催した。

学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に村して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

- 5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代—神津猛・米山—政資料を中心に—」
- 7月 夏季企画展「幕末の信州—時代を駆けた草莽たち—」
- 9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち—信州の十五年戦争—」
- 11月 「信州の歴史遺産I—新指定長野県宝と歴史館のお宝—」
- 2007年1月 冬季展「信濃の人形—いのりと願い—」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2007」(共催事業)

2007 (平成19) 年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島2007—新発見考古資料速報展—」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域へ

の出前講座などを更に進め、開館二年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

- 5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見—長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから—」
- 7月 夏季展「絵地図の魅力—わたしの城下町—」
- 9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2007—新発見考古資料速報展—」
- 10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」
- 2008年1月 冬季展「信濃の人形展」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2008」(共催事業)

2008 (平成20) 年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何?」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産II」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

- 5月 春季展「うつわは語る—縄文から近世まで—」
- 7月 夏季企画展「大庄屋って何?—安曇郡・清水家文書の350年—」
- 9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産II—長野県宝と歴史館のお宝—」
- 2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2009」(共催事業)

2009 (平成21) 年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰—流転と遍歴の勸化—」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜—歴史を記録した先人たち—」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う—信州弥生文化の確立—」

- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ — 諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’ —」
 2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2010」（共催事業）

2010(平成22)年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

- 5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」
 7月 夏季展「あの世への想い — 日本人はどのように埋葬されてきたか —」
 9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺 — 古代に創建された松本平の二つの寺院 —」
 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ — 文字のちから —」
 2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2011」（共催事業）

2011(平成23)年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

- 5月 春季展「武士の家宝—かたりつがれた御家の由緒—」
 7月 夏季企画展「激動を生きぬく — 信濃武士市河氏の400年 —」
 9月 秋季企画展「観光地の描き方 — 浮世絵版画から観光パンフレットまで —」
 12月 冬季展「郷土のお宝 — 『重文・県宝』を見よう —」
 2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」（共催事業）

2012(平成24)年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

- 5月 春季企画展「長野県の満洲移民—三つの大日向をたどる—」
 7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」
 9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器一万年の旅」
 2013年1月 冬季展「愛娘の調度品—姫君様の婚礼道具から雛人形まで—」
 3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「長野県の遺跡発掘2013」（共催事業）

2013(平成25)年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点をこめた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

- 4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓
 6月 夏季展「信州の野球史—大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球—」
 9月 秋季展「刃が語る信濃」
 11月 冬季展「山国の水害—戊の満水と善光寺地震—」
 2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州」
 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」（共催事業）

2014(平成26)年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点をこめた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

- 6月 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」
 7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～」
 9月 秋季展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」
 11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」
 2015年2月 春季展「山と海の廻廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

2015 (平成27) 年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画展「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史」

12月 冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

2016 (平成28) 年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座in千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曾地域の歴史を取り上げた。同時期に木曾が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曾馬や木曾各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曾関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曾文化の発信を図った。

冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年より74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道－失われた鉄道の軌跡－」

9月 秋季企画展「－文化の十字路－木曾の宝」

12月 冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘2017」

2017 (平成29) 年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合いくらしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の模様は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戊の滴水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘2017」は昨年に続き伊那（伊那文化会館）・安曇野（豊科郷土資料館）・佐久（浅間縄文ミュージアム）で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ（約5,300～5,100年前）における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曾地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とはほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日（土）を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料（「きそのぐわんしょ」）の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日（2.5時間×4日）、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト（『日常生活からひもとく信州』）を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 「長野県の遺跡発掘2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」

9月 秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」

12月 冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘2018」

2018(平成30)年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。

他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県の博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

「長野県の遺跡発掘2018」は歴史館の他、県内3箇所で開催した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『「県歌50年」作詞家「浅井淵の書を見る」』、6月に『信州の「野球史 夏」』を行い、タイムリーな企画となった。

講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で開催した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

外壁工事のため7月30日～9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日～3月31日の期間が講堂使用不可となった。

3月 「長野県の遺跡発掘2018」

6月 夏季企画展「君は河童を見たか！－水辺の出会い－」

9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石－先史社会の石材獲得と流通－」

12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 「長野県の考古学－時代を映す“匠”の技－」

2019(令和元)年度

開館25周年を迎え、記念事業を実施。特別企画として、「長野県立歴史館の名品」、「戦国 小笠原三代」、「土偶展」を開催し、どれも好評であり来館者より高い評価を受けた。特に10月26日（土）から11月10日（日）まで実施した特別企画土偶展 前期「国宝土偶」は、現在日本において指定を受けている国宝土偶5箇を展示した。

入館者数は15,041名を数え、非常に盛況であった。

講座は、信州学講座として歴史館で5回(2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として安曇野・上田・箕輪・諏訪の4箇所を実施しいずれも好評であった。

館運営に対して企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」はKOA株式会社、千曲市から協賛を受けて実施した。特に千曲市からは特別企画土偶展 前期「国宝土偶」開催に向けて多大な支援を頂きいた。「国宝土偶」展の開催期間中に「千曲市の日」を設け、千曲市民の入館を無料としたところ、711名の千曲市民の来館があり地域に歴史館を知っていただく絶好の機会となった。

他館との連携強化に向けて、11月22日山梨県立考古博物館、11月23日群馬県立歴史博物館との連携協定を締結した。

歴史館版信州学テキスト第3巻『新たな時代にはばたく信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

3月 「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-

7月 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」

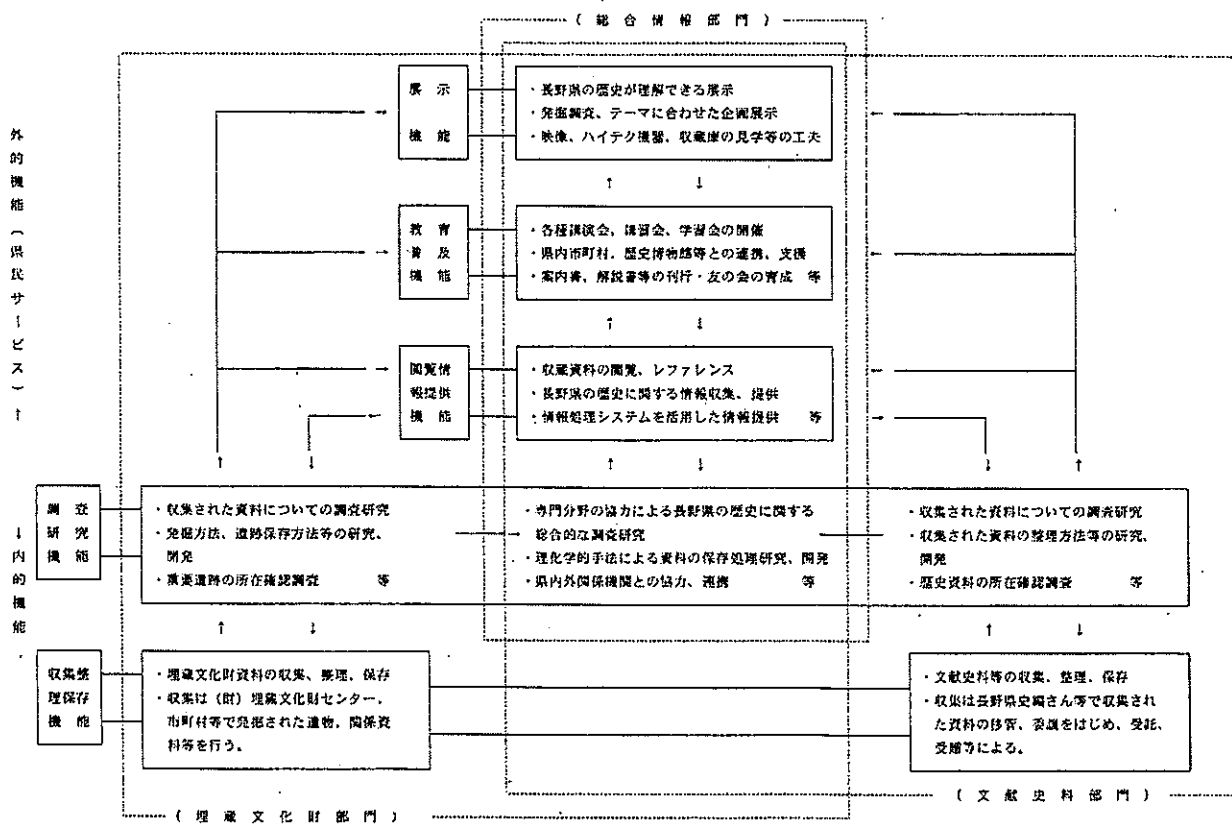
9月 秋季企画展「戦国 小笠原三代」

10月 特別企画土偶展 前期「国宝土偶」後期「中部高地の土偶」

2020年3月 春季展「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-

Ⅱ 機能・組織・運営

1 機能



県立歴史館機能構成図(平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による)

建設基本構想骨子(平成2年11月建設委員会決定)

1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2 設置場所

更埴市大字屋代字清水(森將軍塚古墳付近)

3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史料資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、受託、受贈、購入、複製収集等による。

4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

5 敷地の概要

- 取得面積 約19,500㎡
(用途別内訳)
建物面積 6,500㎡程度
駐車場 4,500㎡程度
外構面積 6,500㎡程度
屋外展示 2,000㎡程度

6 施設の概要

- 建築面積 6,500㎡程度
延べ床面積 10,000㎡程度
(部門別内訳)
総合情報部門 3,100㎡程度
埋蔵文化財部門 2,750㎡程度
文献史料部門 1,850㎡程度
管理部門 2,300㎡程度

7 建設計画

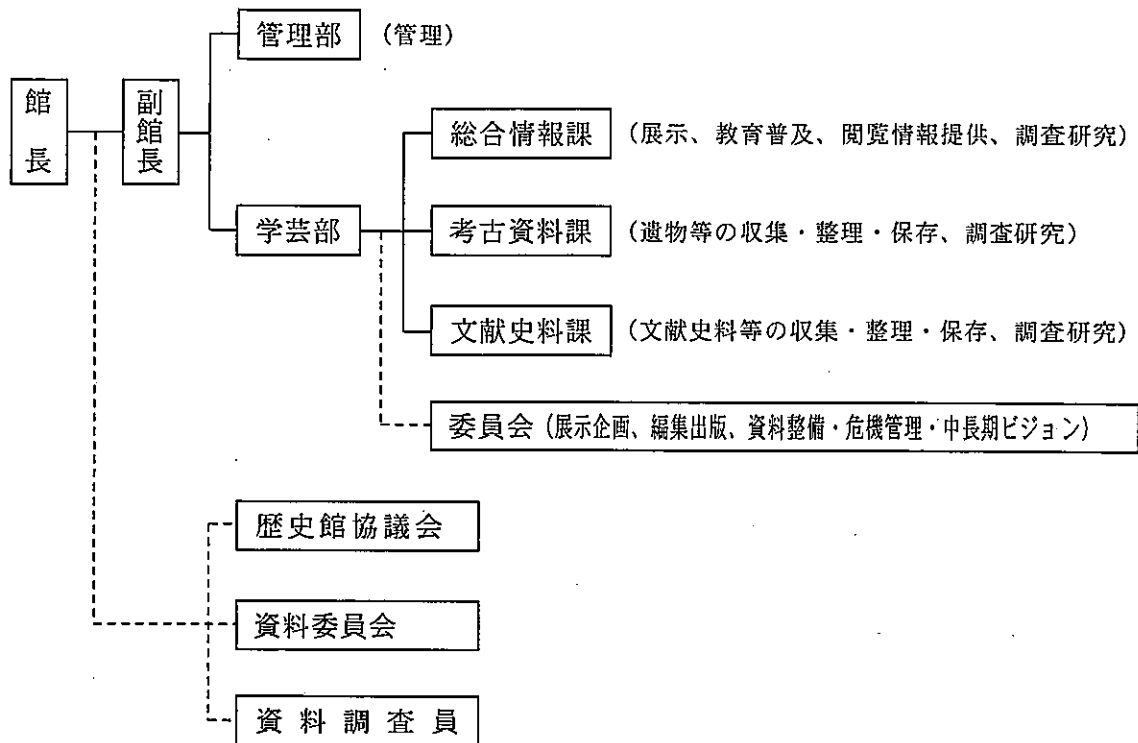
- | | |
|---------|----|
| 平成4年 | 着工 |
| 平成5年 | 完成 |
| 平成6年(春) | 開館 |

8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2 組織と分掌

○組織図（令和元年4月1日現在）



○分掌表

部 課		分 掌 事 項
管	理	1 庶務及び会計に関すること 2 組織及び人事に関すること 3 営繕に関すること 4 警備、清掃及び防火に関すること 5 施設、設備の保守管理に関すること
学 芸 部	総合情報課	1 歴史資料等の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講演会、講習会、研修会等）の企画及び実施並びに調整に関すること 3 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること 4 情報提供の企画及び実施に関すること 5 各種刊行物の編集及び出版並びに企画調整に関すること
	考古資料課	1 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 埋蔵文化財の研究及び科学分析・保存処理に関すること 3 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 4 情報提供の実施に関すること 5 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること
	文献史料課	1 文献史料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 3 情報提供の実施に関すること 4 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること

3 運営

(1) 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集、保存、調査研究し、展示、閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

(2) 事業概要

① 史資料の収集・整理・保存

考古資料・文献史料・長野県公文書の収集・整理・保存

② 調査研究

ア 25周年記念事業に係る調査研究

イ 長野県の歴史に関する調査研究

ウ 共同研究（市町村教委との近世城郭・城下町研究、黒曜石文化研究・長野県の土偶研究）

③ 史資料の公開・教育普及

ア 展示の企画実施

(ア) 常設展示（企画展等に対応させた展示替え）

(イ) 企画展等

・巡回展「長野県の考古学―時代を映す“匠”の技」（3/25～6/23）

塩尻市立平出博物館（7・9月）、飯田市美術博物館（10～11月）を巡回

・開館25周年記念収蔵品展「長野県立歴史館の名品」（7/6～8/18）

・開館25周年記念秋季企画展「戦国 小笠原三代」（9/7～10/14）

・開館25周年記念特別企画土偶展「国宝土偶」（10/26～11/10）

・開館25周年記念特別企画土偶展「中部高地の土偶」（11/23～R2・2/2）

・春季展「長野県の考古学―いのちをつなぐ技と交流―」（3/25～（3/31））

(ウ) ミニ展示

・「平成とともに歩んだ歴史館（ポスター展）」（4/27～6/23）

・「屋代に田んぼが作られるまで―縄文時代後・晩期における屋代低地の土地利用」（6/25～3/31）

イ 親子歴史ふれあいコーナー（仮称）の設置準備

ウ 学校見学の充実（解説・バックヤード探検の実施）

エ 歴史関係講座の企画実施

(ア) 主催講座

県立歴史館の信州学講座（歴史館5回、出張4回）、考古学講座（3回）、古文書講座（25回）、遺跡探訪会（1回）、ティーンズ古文書講座（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

(イ) 連携講座の実施（4館4回）

カ 他団体との連携

(ア) 連携講座（信濃史学会 長野県考古学会、信州近世史セミナー）

(イ) 長野県ケーブルテレビジョンとの連携により、主要講座を県内に発信

(ウ) 「歴史館パートナーの日」の開催

(エ) 他県博物館との連携（山梨県立考古博物館・群馬県立歴史博物館）

キ 研修会の実施（考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会）

ク 刊行物の発行（信州を学ぶテキスト、研究紀要、年報、史資料目録、歴史館たより等）

ケ 体験学習及びイベントの開催（歴史館でこどもの日 歴史館で夏休み）

コ 歴史情報のマスコミへの発信（信毎コラム「しなの歴史再見」）

④ 閲覧・情報提供

- ア 収蔵資料の閲覧、レファレンス
- イ 歴史館ホームページを活用した情報提供
- ウ 史資料の貸し出し

⑤ 学校教育の支援

- ア 教職員研修
- イ 学芸員講座
- ウ 「おでかけ歴史館」の充実
- エ 出前授業の充実（小学校、長野県短期大学、市立長野高校等）
- オ 職場体験学習
- カ 博物館実習

⑥ 生涯学習の支援

公民館等の講座へ講師の派遣

- ⑦ ボランティアの募集・育成
- ⑧ 内規改定の推進

4 関係法規

長野県立歴史館条例 (平成6年長野県条例第24号)

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)並びに地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)を千曲市に設置する。

(職員)

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 歴史館に、博物館法第20条の規定による歴史館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(使用の許可)

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用料の納付)

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

(使用料の額)

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

(使用料の減免)

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成15年7月24日条例第47号)

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第37号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日条例第40号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館管理規則 (平成6年教育委員会規則第5号)

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。)第9条の規定により、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、火曜日)

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

(開館時間)

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(歴史館協議会)

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(使用の許可等)

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあっては長野県立歴史館閲覧申込書(様式第1号)を教育委員会に提出し、展示資料を閲覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券(様式第2号)を交付するものとする。

(閲覧の制限)

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項
(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

長野県立歴史館資料委員会設置要綱

(設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

(委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

2 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、館長が招集する。

2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

3 館長は、緊急を要する事項について、書面等での回答をもって会議に代えることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

附則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

(委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。（任期）

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

(員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

(調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史料とする。

(調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を館長に報告するものとする。

(守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

(会議)

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

Ⅲ 施設

敷地面積 19,593 m²
 建築面積 6,702 m² (延床面積 10,457 m²)
 鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール等

総合情報部門

常設展示室 (1,278 m²)、企画展示室 (292 m²)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m²)、第二研修室 (148 m²)、閲覧室 (159 m²)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース等

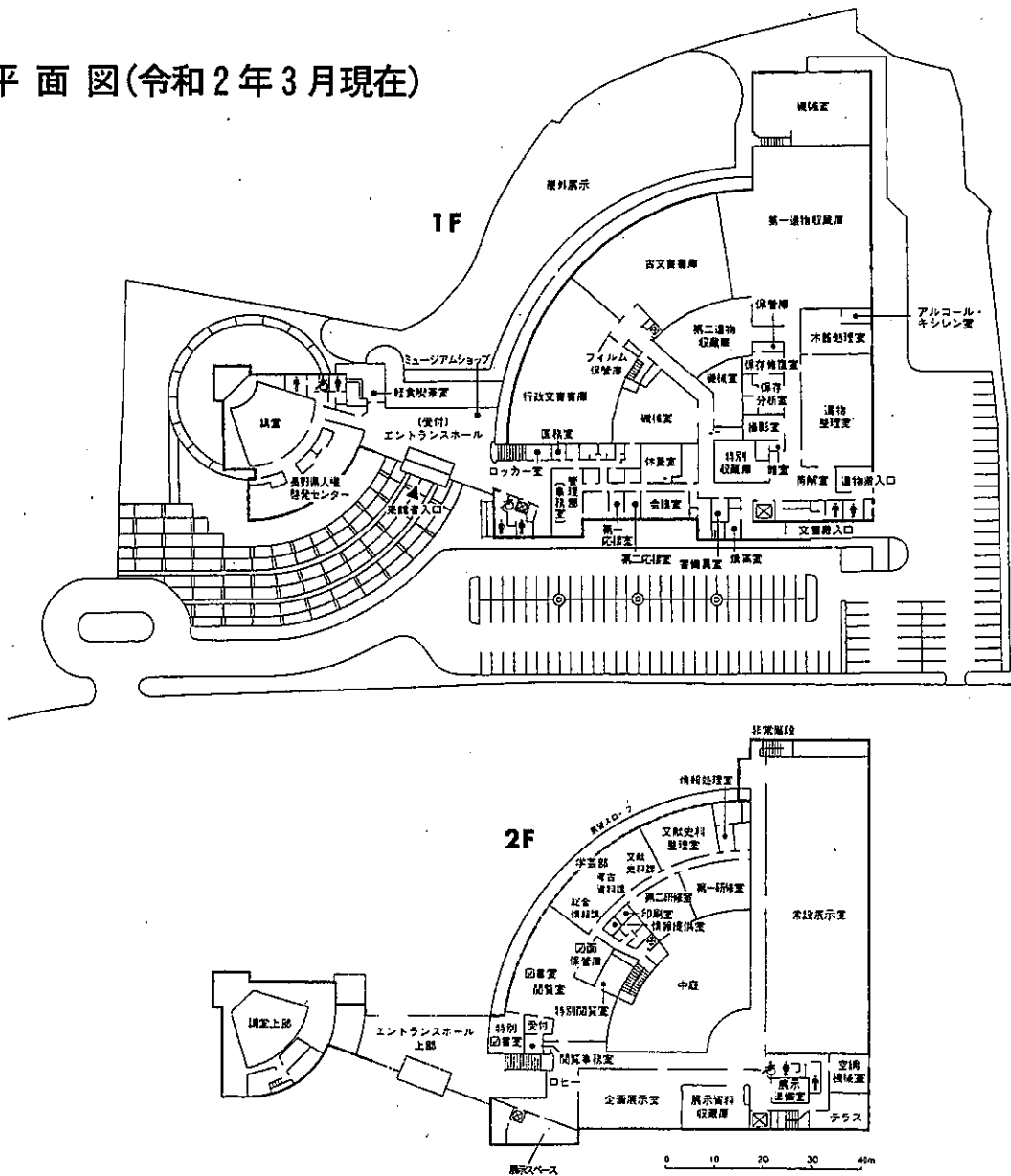
考古資料部門

遺物整理室 (348 m²)、第一遺物収蔵庫 (982 m²)、第二遺物収蔵庫 (215 m²)、木器処理室、保存分析室、保存修復室等

文献史料部門

文献史料整理室 (145 m²)、行政文書書庫 (592 m²)、古文書書庫 (583 m²)、蒸蒸室、フィルム保管庫等

1 平面図(令和2年3月現在)



2 諸 室

部門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 部	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	映像情報室	73	ビデオ映像による歴史学習	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
	部 門	講堂	225	
撮影・現像室		55	資史料撮影、現像	
遺物整理室		348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
保存分析室		45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
木器処理室		97	出土木器の保存処理	
休養室		37	整理作業員等の休憩、昼食	
保存修復室		39	遺物の修復	
X線分析室		13	遺物の分析	
蛍光X線分析室		12	遺物の分析	
アルコールキシレン室		19	遺物の保存処理	
第一遺物収蔵庫		982	出土土器・石器類の収蔵	
第二遺物収蔵庫		215	出土木器の収蔵	
特別収蔵庫		71	重要な資史料の収蔵	
行政文書書庫		592	行政文書・行政資料の保管	
古文書書庫		583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
フィルム保管庫		42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
燻蒸室		19	搬入資料の燻蒸	
	小 計	6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
	長野県人権啓発センター	188		1 階
	合 計	10,457		

一 事 業

I 令和元年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考
自 主 事 業	常 設 展	年間(307日)	54,247	
	巡回企画展「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-」	(4月1日～ 6月23日)	12,117	
	巡回企画展「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-」 (塩尻市立平出博物館)	7月27日～ 9月16日	1,545	
	巡回企画展「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-」 (飯田美術博物館)	10月5日～ 11月10日	2,449	
	開館25周年記念収蔵品展「長野県立歴史館の名品」	7月6日～ 8月18日	3,840	
	開館25周年記念秋季企画展「戦国 小笠原三代」	9月7日～ 10月14日	5,049	
	開館25周年記念特別企画土偶展「国宝土偶」	10月26日～ 11月10日	15,041	
	開館25周年記念特別企画土偶展「中部高地の土偶」	11月23日～ 2月2日	4,127	
	「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-」	3月25日～ (3月31日)	240	
	企画展関連講演会等(年23回)	7月～2月	1,916	
	巡回企画展関連講演会等(年2回)	4月・8月	165	
	講演会・講座・講習会等			
	県立歴史館の信州学講座(年5回)	4月～3月	378	
県立歴史館の信州学出前講座 in上田・箕輪・諏訪・安曇野(年4回)	8月～2月	243		
考古学講座(年3回)・遺跡探訪会(年1回)	5月～11月	246		
出前講座(年55回)	4月～3月	3,891		
バックヤード探検・見学	4月～3月	12,107		
お出かけ歴史館(小学校5校、公民館等2館)	10月～2月	173		
考古資料保存処理講習会(年1回)	12月	39		
文献史料保存活用講習会(年3回)	6・10・2月	135		
各種講習会・イベント	4月～2月	2,596		
その他				
史資料等の閲覧	年間(307日)	4,026		
共 催 事 業	講 演 会 等			
考古学セミナー(年2回)	6月・12月	159	長野県 考古学会	
近世史セミナー(年1回)	12月	120	信濃 史学会	
古文書愛好会古文書演習(21回)	5月～2月	424		
古文書愛好会館蔵文書を読む会(8回)	6月～12月	251		
計			125,524	

II 展 示

1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとの暮らし」

(1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

① 常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学

際的、総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく考えられるものとする。

② 常設展示の方法

・常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③ 常設展示の内容

・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。

・マルチメディアによる詳しい解説

展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構成

木曾ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	平成31年4月～令和2年3月	ヒノキ立林、植生
	平成31年4月～令和2年3月	木曾ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

原始 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代（旧石器時代）の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	平成31年4月～令和2年3月	ナウマンゾウ模型（実物大環境復原）、ナウマンゾウ第1臼歯模型 他
最初に住んだ人びと	平成31年4月～令和2年3月	竹佐中原遺跡・日向林B遺跡石器 他
発達した狩りの道具	平成31年4月～令和2年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器 他

中テーマ 中央高地の縄文文化

1万5,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。5,300～4,500年前の縄文中期、信州は日本一の人口密集地の一つとなった。本年度前半は中期中葉を中心とし、後半は中期後葉を中心に、生活道具の土器・石器や地域間交流を示す黒曜石やヒスイ大珠などを展示した。また、前・後期の間には、25周年特別企画「土偶展」に合わせ、館蔵土偶や顔面付き土器（複製）を展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	平成31年4月～令和2年3月	隆起線文土器、早期の尖底土器、栃原岩陰遺跡骨角製装身具（複製） 他
定住のはじまり	平成31年4月～令和2年3月	阿久遺跡土器、石器、装身具 他

華やかな土器文化と生業	平成31年4月～令和2年3月 (「土偶展」期間中は展示変更)	「土偶展」を挟んで前半は上木戸・ 剣ノ宮遺跡ほか土器・石器。後半は 上木戸遺跡出土垂飾や、郷土・屋代 遺跡などの土器・石器ほか
原始・古代のヒトガタ 「館蔵土偶と顔のつく土 器」	令和元年9月～令和2年2月	竜神平・上木戸・郷土・屋代・北村・ 栗林遺跡他、館蔵土偶の大半と複製 品
寒冷化する環境の中で	平成31年4月～令和2年3月 (「土偶展」期間中は展示変更)	国宝土偶「仮面の女神」(複製)、 北村遺跡土器・石器 他
縄文のムラ(実物大環境 復原)	平成31年4月～令和2年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植 栽・動物 他

中テーマ 稲をつくった信濃人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。本年度、他地域との比較として、東京都大田区から南関東の弥生土器を借用展示した。また、「土偶展」期間中は、土偶形容器や人面付き土器などを中心に展示を行った。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	平成31年4月～令和2年3月 (「土偶展」期間中は展示変更)	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡石器、人 面付土器、銅鐸(レプリカ)、南関 東の土器 他
弥生時代のヒトガタ	令和元年9月～令和2年2月	城の内遺跡、力石条里遺跡人面付土 器ほか

中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。かれらの力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
炉からカマドへ	平成31年4月～令和2年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
黄泉の国へ	平成31年4月～令和2年3月	陣馬塚古墳大刀、松原遺跡馬具・勾 玉 他
朝鮮半島からの文化	平成31年4月～令和2年3月	天冠、帯金具 他

古代 信濃国のなりたちと人びとの暮らし

中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	平成31年4月～令和2年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	平成31年4月～令和2年3月	木製農具(鍬、鋤、杵、槌、えぶり)
条里水田	平成31年4月～令和2年3月	条里区画変遷模型

中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信濃から都へ	平成31年3月～10月	藤原宮木簡、二条大路木簡、長岡京木簡、正倉院白布(模造)、布袴(模造)
木製人形の世界	令和元年10月～令和2年3月	屋代遺跡群出土木製祭祀具(人形、馬形)・木簡、屋代遺跡群調査区(模型)

中テーマ 平安時代の村の暮らし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
富裕農民の世界	平成31年4月～令和2年3月	須恵器大甕、緑釉椀、緑釉皿、土師器皿、須恵器円面硯、帯金具、瓦塔、せん仏、銅鏡

中世 信濃武士と百姓の暮らし

中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
木曾義仲と荘園	平成31年4月～令和元年8月 令和2年3月	平家物語図屏風、木曾義仲合戦図屏風、源平合戦図屏風、源頼朝下文（複製）、木曾義仲下文（複製）
大塔合戦から川中島へ	令和元年9月～令和2年2月	大文字の旗（複製）、足利尊氏御教書（複製）、斯波義種感状（複製）、飯尾常房書状、大塔物語

中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	平成31年4月～令和2年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵（複製）、一遍上人絵詞伝（複製）
鎌倉時代の善光寺門前 (実物大環境復原)	平成31年4月～令和2年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとり入れた。寺社の門前や人の集まるところには市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東アジアと信濃	平成31年4月～令和元年8月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常滑焼、湖亭春望図
銭を使う人びと	令和元年9月～令和2年3月	薄葉景光太田荘神代郷代官職請文、市川盛房置文、宋銭・明銭、常滑焼

近世 江戸時代の町と村の暮らし

中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
城と城下町（雛人形）	平成31年4月1日～令和元年5月17日	享保雛、松本押絵、田中平八雛人形、薄紅平絹地桜樹笹模様打掛
農耕図の世界	令和元年5月17日～9月2日	四季農耕図屏風（景栄、其残）
城と城下町（松本）	令和元年9月2日～11月21日	松本城二の丸跡発掘出土品類、松本城下町絵図、水野隼人正家中分限帳
大名と百姓	令和元年11月21日～2年2月26日	上田・高遠藩主画像、上田城下町絵図、年貢割付状、煙火打上筒・資料
大庄屋の仕事と暮らし	令和2年2月29日～3月31日	戸田家紋散大盃、螺鈿卓、梨子地紋散卓、火事装束、松川旗
正保信濃国絵図	平成31年4月～令和2年3月	正保の信濃国絵図（複製）、年貢皆済目録（複製）

中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらはしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	平成31年4月～令和2年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	平成31年4月～令和2年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、さまざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	平成31年4月～令和2年3月	ランドサット図
信州中馬	平成31年4月～令和2年3月	中馬装束模型、映像「信州中馬」
街道の風景	平成31年4月～令和2年3月	信州松本通見取絵図控（小諸町、矢代宿ほか）、中山道長窪宿高札、薬屋看板、関札、矢代宿町割図、旅装束（旅合羽、笠、草鞋） 馬頭観世音、道祖神

中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達した。祭りや相撲などの興行、寺社参詣を目的とした旅も盛んになり、信州へは善光寺参りでにぎわった。酒屋が誕生し、宿場や村でも酒が消費された。幕末には開国・倒幕で国が揺れ、公武合体によって和宮が降嫁した。松代藩士佐久間象山などが外国の進んだ技術を学んだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中山道の明治維新	平成31年4月1日～令和元年9月2日	和宮行列図、和宮関係文書、ええじやないか文書、伊勢暦、降札、黒船図、ぺるり図
近世の興行	平成31年4月1日～令和元年9月2日	相撲番付、歌舞伎相撲番付、大日本国中ふしぎくらべ、土俵入之図、雷電手形、力士図、雷電等身大パネル
祭りの人形芝居	平成31年4月～令和元年3月	黒田人形（時姫、三浦之助）、映像「黒田人形」、
信濃の酒造り	令和元年9月2日～2年2月26日	酒造道具（だき樽、半切り桶、かき、麴蓋、桃桶など）、通徳利
豪農の世界	令和2年2月29日～3月31日	婚礼の祝い膳（復原）、婚礼の献立文書（複製）
近世の学問	令和2年2月29日～3月31日	伝佐久間象山使用短銃、伝佐久間象山電気治療器、茶運び人形

近現代 世界につながる県民の暮らし

中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	平成31年4月～令和2年3月	五榜の掲示、筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、下問会議書類、筑摩県博覧会錦絵
お蚕さま	平成31年4月～令和2年3月	蚕の発育順序模型、蚕種原紙、生糸製糸組合奉納絵馬、まぶし
世界につながる蚕糸業	平成31年4月～令和2年3月	「蚕と桑からの産物」の掛図、器械製糸生糸、操糸鍋、シルクラベル
近代の製糸工場	平成31年4月～令和2年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、工女募集告諭書、『松代名所図会』
工女の生活	平成31年4月～令和2年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事
近代の製糸工場(実物大環境復原)	平成31年4月～令和2年3月	ボイラー、水車、繰糸器

中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	平成31年4月～令和2年3月	黒板、児童用二人掛け机、算盤(五つ玉)、農民美術作品、織物標本
おもちゃ(トピックス)	平成31年4月～令和2年3月	出世双六、キューピー人形、メンコ、コリントゲーム
戦前の観光信州	平成31年4月～令和2年3月	鳥瞰図『長野県の温泉と名勝』・『長野電鉄沿線温泉名所案内』

中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃をうけた。そこから抜け出すため県は満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様々な戦争体験	平成31年4月～令和2年3月	『満洲更科郷のスケッチ』、『拓け満蒙』、『終戦の記』、灯火管制覆

中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	平成31年4月～令和2年3月	球体洗濯機、攪拌式洗濯機、一槽式洗濯機、足踏み式ミシン、ナショナルホームラジオ、ナショナル電気こたつ、4号電話機、カメラ、腕時計、1970年代雑誌創刊号

マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示 歴史のこみち		
中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	平成31年4月～令和2年3月	植栽
5,000～6,000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アク(シブ)をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡
万葉の野	平成31年4月～令和2年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	平成31年4月～令和2年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

(3) 新規小テーマの概要

『信濃の酒造り』

江戸時代、信濃国では各地で酒造りが行われた。酒造りは微生物(麹菌、酵母)を用いる「醸造」だが、製造工程が複雑で、温度管理が難しい。そのため、製造技術も人員資金も必要で、多くの道具が使われた。酒造りの工程について、江戸時代に描かれた酒造り図とともに使われた道具を展示し、酒造りの様子や工夫等の一端を紹介した。

展示品は全て坂井家(坂井銘醸株式会社)で使ってきた酒造道具。当家は、江戸時代を通し北国街道下戸倉宿(千曲市戸倉)の大農家・資産家・実業家だった。慶長年間(1596～1615)の街道整備による宿場形成とともに宿中心部に移って造酒屋「下の酒屋」を営する。元禄14年(1701)月には酒造高が20石(約3,600リットル)と記録されている。昭和55年(1980)以降、この地で酒造は行っていないが、宝暦10年(1760)の大火後に建てられた茅葺き家屋や酒蔵が残り、文化財登録されている。この展示資料は数多くの酒造道具の一部で、昭和まで使われてきたが、江戸時代の酒造りが想像される道具である。江戸時代に酒造りの工程を描いた『日本山海名産図会』のパネルからも酒造りの様子が伝わってくる。

2 企画展示等

●開館 25 周年記念 収蔵品展 「長野県立歴史館の名品」

会期：

令和元年 7 月 6 日（土）～8 月 18 日（日）

開催日数：39 日間

入場者数：3,840 人

主催：

長野県立歴史館

後援：

信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ（7紙）、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、（公財）八十二文化財団

展示趣旨：

開催趣旨

古来より長野県は、東日本と西日本を、あるいは太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、独自の風土と文化をはぐくんできた。

その中で、開館 25 周年を迎える長野県立歴史館は、信濃国・長野県の歴史的背景と変遷を明らかにし、歴史学習を深め

られる場を提供するため、様々な活動を行ってきた。そのひとつに、信濃の歴史や生活風土の諸相を示す史資料や、長野県と関係深い美術工芸品の収集と公開がある。

本展では、重要文化財に指定されている石器や、縄文土器、合戦図・風俗図などの屏風、さらには近代の絵画など、初公開作品を含む当館所蔵の優品 25 点を一堂に展覧した。

展示作品・資料：

- 1 局部磨製石斧と砥石 36 個
台形石器他 56 個
- 2 動物装飾付釣手土器 1 口
- 3 台付土器 1 口
翡翠製垂飾 5 個
- 4 深鉢形土器 2 口
- 5 石器未成品 13 個
- 6 磨製石斧 3 個
- 7 翡翠製勾玉 2 個
- 8 大刀 3 口
- 9 武田家朱印状 1 幅
- 10 瑞雲双鸞八花鏡 1 面
- 11 六角宝幢 1 式
- 12 六角宝幢 複製品 1 基
- 13 瑞花双鳥八稜鏡 1 面
- 14 灰釉四耳壺 1 口
- 15 鳥羽院庁下文 1 卷
- 16 東山名所図屏風 六曲一隻
- 17 川中島合戦図屏風 六曲一隻
- 18 刀 銘「信州諏訪住藤原信舎」 1 口
- 19 脇差 銘「信舎」 1 口
- 20 脇差 銘「（菊紋）島田小十郎助宗」 1 口

- 21 脇差 銘「(菊紋)一於信州嶋田広助」 1口
- 22 田中平八コレクションのうち 雑道具 一式
- 23 教草一覧のうち 澱粉一覧 下 一冊
- 24 飯島二水 埴科郡西條村六工製糸場之図 一面
- 25 吉田初三郎 長野県之温泉と名勝 一巻

行事：

講座（ギャラリートーク）：

時刻：13:30～、7/20のみ15:30～

会場＝企画展示室内

日時・講師・演題：

7月6日(土)、町田勝則「初公開 これ
が六角宝幢だ！」

7月13日(土)、町田勝則「石器の話～信
州ブランド、伐採用石斧の魅力～」

7月20日(土)、水澤教子「縄文土器の名
品を観る」

7月27日(土)、村石正行「久しぶり「天
養文書」の原本を見る」

8月10日(土)、林 誠「吉田初三郎の鳥
瞰図と戦前の「観光信州」」

〈印刷物〉

ポスター B2版 表カラー 2,100枚

チラシ A4判 両面カラー 20,000枚

A4判展示リスト

〈担当〉

総合情報課 林 誠

●秋季企画展

「戦国 小笠原三代一長時・貞慶・秀政
一」

令和元年9月7日(土)～10月14日

(月) (開催日数 32日間)

入場者数 5,049人 (企画展示室観覧者
数)

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長総局
読売新聞長野支局、毎日新聞長野支
局、中日新聞社、産経新聞長野支局、
市民タイムス、市民新聞グループ(7
紙)、長野市民新聞社、長野日報、南
信州新聞社、NHK長野放送局、S
BC信越放送、NBS長野放送、T
SBテレビ信州、ABN長野朝日放
送、FM長野、FMぜんこうじ、屋
代有線放送、日本ケーブルテレビ連
盟信越支部長野県協議会、(公財)八
十二文化財団

〈展示趣旨〉

インターネット、SNS(ソーシャル
ネットワーキングサービス)などを通じ
て我々は膨大な情報を日々浴びるよう
に得る情報社会に生きているといえる。

しかし、たくさん「情報を得る」こと
と、それを「理解し実践する力」は別物
である。「情報収集の渦」に飲み込まれず、
主体的に情報を獲得し自分のものにしよ
うとする営みが「学問」でありその力が
「知」力である。

現代社会だけではない。14世紀から
ほぼ信濃国守護として活躍した小笠原家
は信濃を代表する大名家である。そして
この小笠原氏が、全国数ある大名家のな
かでも独自のネットワークを構築し、未
曾有な「知」の体系化をおこなった希有
な一族である。

戦国から近世への時代の転変の荒波の
なかで、家の存続をかけて彼らはいかな

る論理で家を守り、生き抜いたか。戦国の激動のなかで、武田家に追放された小笠原氏。その後武田家は滅びたが、小笠原氏は江戸時代を通じて大名家として存続した。しかも、江戸時代のみならず現代に至るまで「小笠原流」と称される礼法が脈々と息づいているのである

本企画展では、戦国から近世初頭までを「武」という観点だけでなく、畿内諸勢力や全国の同族とのネットワークと、膨大な故実を集積するなどした「知」力で没落守護家を再興した小笠原3代にスポットを当てる。「ネットワーク・知・主体性」という小笠原氏をめぐるキーワードから、現代の混沌とする情報渦のなかを生き抜くための私たちのヒントがある。

〈展示構成〉

プロローグ 小笠原一族の伝播

I 雌伏 -三好長慶と小笠原長時-

II 中興 -貞慶の筑摩郡回復-

III 大成 -近世大名となった秀政

エピローグ あえて故実を武器として

〈主な展示資料〉

国宝：上杉家文書・東寺百合文書

重要文化財：木造蘆名盛氏坐像・越後文書宝翰集

県宝：真田家文書・守矢家文書

その他：足利尊氏書状・三好長慶画像・小笠原長時書状・織田信長朱印状・小笠原秀政着用二枚胴具足・深志神社関係資料・廣澤寺文書・洛中洛外図・仁科信盛禁制など 103 点

〈行事〉

(1) 講演会

9月14日(土) 笹本正治館長「塩尻峠の合戦―長時と信玄の運命を決した戦い

―」参加者 220 名

10月13日(日) 本郷和人氏(東京大学史料編纂所教授)「小笠原氏の軌跡―小笠原は将軍になれたのか―」雨天中止

(2) 連続講座

9月21日(土) 「小笠原長時のネットワーク」(156名)

9月28日(土) 「小笠原家を中興した貞慶」(134名)

10月5日(土) 「飯田藩・松本藩時代の小笠原秀政」(141名)

講師 いずれも村石正行(県立歴史館)

(3) ギャラリートーク

各講演会・講座修了後実施。

9月14日(51名)・9月21日(76名)・

9月28日(83名)・10月5日(58名)

10月13日(16名)

(4) ギャラリートーク

〈印刷物〉

ポスター B2判 表カラー 2,200部

チラシ A4判 両面カラー 33,000部

図録 A4判カラー220頁 1,800部

歴史館学び隊 A4判モノクロ8頁

3,000部

〈担当〉

文献史料課 村石正行 伊藤友久

総合情報課 宮坂 到

●特別企画土偶展

「国宝土偶～縄文文化の多様な個性～」

令和元年10月26日(土)～11月10日(日) (開催日数16日間)

入場者数 15,041人(企画展示室観覧者数)

「中部高地の土偶」

令和元年11月23日(土)～令和2年2月2日(日) (開催日数57日間)

入場者数 4,127 人 (企画展示室観覧者数)

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局

読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞長野支局、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ (7紙)、長野日報、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、屋代有線放送、FMぜんこうじ、(公財)八十二文化財団、特別協賛 千曲市

〈展示趣旨〉

土偶はユニークなデザインや造形力の高さから国の内外で注目を浴びています。長野県内では、国宝2箇のほか2千点を超える土偶が出土しており、全国でも有数の土偶製作地域といえます。そこで開館25周年を記念して、土偶にスポットをあてた企画展を開催しました。

「国宝土偶」では国宝土偶5点を同一空間で比較し、それぞれの強烈な個性と縄文文化の多様性が感じられるでしょう。その中で引き締まった顔面、立つためのしっかりとした脚を持つ県内土偶の特徴を見ていただきます。

「中部高地の土偶」では、長野・山梨両県の土偶文化の裾野の広さを提示します。一遺跡で100、200、1000点を超える事例があるなど多種・多様な土偶が大量に作られ、各自の暮らしに寄り添う場面で製作され、使われ、送られ

たと考えられます。本展示では国宝に指定されるような大形土偶に対し、個人や小集団の祈りに対応したと考えられる小・中形土偶にスポットを当て、ヒトガタに想いを託す私たちの感性について、日本列島でヒトガタ製作が始まった縄文時代から考えてみます。

〈展示構成〉

第1章 土偶とは何か？

第2章 国宝土偶

第3章 中部高地の土偶

- 1 土偶作りのはじまり
- 2 暮らしに寄り添う土偶文化の成立
- 3 北信の中期土偶
- 4 東信の中期土偶
- 5 中信の中期土偶
- 6 南信の中期土偶
- 7 山梨県の中期土偶
- 8 後晩期の土偶

〈主な展示資料〉

国宝：棚畑遺跡出土土偶 (茅野市)、国宝：中ツ原遺跡出土土偶 (茅野市)、国宝：著保内野遺跡出土土偶 (北海道函館市)、国宝：風張遺跡出土土偶 (青森県八戸市)、国宝：西ノ前遺跡出土土偶 (山形県)、重要文化財：坂上遺跡出土土偶 (富士見町)、同：釈迦堂遺跡出土土偶 (山梨県笛吹市)、同：鑄物師屋遺跡出土土偶 (山梨県南アルプス市)、長野県宝：新町泉水遺跡出土土偶 (辰野町)、山梨県指定：岡遺跡出土土偶 (山梨県笛吹市)、市重要文化財：エリ穴遺跡出土土偶 (松本市)、市指定文化財：姥ヶ沢遺跡出土土偶 (中野市)、同：目切遺跡出土土偶・花上寺遺跡出土土偶・広畑遺跡

出土土偶（岡谷市）、同：赤岩新屋遺跡出土土偶・古屋敷遺跡出土土偶（東御市）、同：下境沢遺跡出土土偶形容器（塩尻市）

〈行事〉

(1) 講演会

10月27日（日）13:30～15:00

演題「土偶の楽しみ方」

講師 原田 昌幸氏

（文化庁主任調査官）

参加者 145名

11月9日（土）13:30～15:00

演題「国宝土偶を掘る」

講師 守矢 昌文氏

（茅野市尖石縄文考古館長）

参加者 174人

11月23日（土）13:30～15:00

演題「長野県内出土の土偶をめぐって」

講師 寺内 隆夫（当館）

参加者 98人

12月7日（土）13:30～15:00

演題「土偶と土器胎土」

講師 水沢 教子（当館）

参加者 107人

(2) イベント

・土偶報告会・シンポジウム

1月18日（土）・19日（日）

「長野県内出土土偶をめぐって」

「土偶の仕舞い方」

参加者 205人

・クリスマスリース作り

11月30日（土）22人

・土偶スケッチ

11月23日（土）～2月2日（日）

2月1日（土）表彰式

参加者 70人

(3) ギャラリートーク

① 11月23日（土）15:30～

寺内 参加者 43名

② 12月7日（土）13:30～

水沢 参加者 58名

〈印刷物〉

ポスターB2判 表カラー 2,200部

チラシ A3判 両面カラー 22,000部

図録 B5判カラー224頁 2,150部

〈担当〉

担当課長 寺内隆夫

総合情報課 水沢教子・町田勝則・

・林 誠

考古資料課 杉木有紗

● 2019年長野県立歴史館巡回展

「長野県の考古学—時代を映す“匠”の技—」

《北信会場》長野県立歴史館

2019年3月16日（土）～6月23日（日）

（開催日数87日間）

入場者数 12,975人

《東信会場》塩尻市立平出博物館

2019年7月27日（土）～9月16日（月）

（祝）

（開催日数 46日間）

入場者数 1,545人

《南信会場》飯田市美術博物館

2019年10月5日（土）～11月10日

（日）

（開催日数 32日間）

入場者数 2,449人

主催 長野県立歴史館・塩尻市立平出
博物館・飯田市美術博物館
共催 長野県埋蔵文化財センター
後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総
局・読売新聞長野支局・毎日新聞長
野支局・中日新聞社・産経新聞長野
支局・市民タイムス・信州・市民新
聞グループ(7紙)・長野市民新聞
社・長野日報社・南信州新聞社・NHK
長野放送局・SBC 信越放送・NBS 長
野放送・TSB テレビ信州・abn 長野
朝日放送・FM 長野・FM ぜんこうじ・
屋代有線放送電話農業協同組合・
(一社)日本ケーブルテレビ連盟信
越支部長野県協議会・(公財)八十二
文化財団

〈展示趣旨〉

長野県の旧石器時代から縄文時代へ
の移行期、生きていくために必要な狩
りの道具や煮炊き用の土器が登場しま
す。人々は、機能性の優れた道具を作
り続けましたが、そこに”匠の技”と
も呼ぶべき技術開発がありました。今
回の展示では、石器の移り変わりと土
器の登場をテーマに展示します。また
昨年「信州の特色ある縄文土器」とし
て長野県宝に指定された土器から主な
ものを展示公開します。さらに日本遺
産認定記念として信州にある二つの黒
曜石鉱山の出土資料を展示します

〈展示した主な遺跡〉

1 狩猟具の変化と土器の登場

下茂内遺跡(佐久市)、神子柴遺跡(箕
輪村)、星光山荘遺跡(信濃町)、貫ノ木
遺跡(信濃町)、東裏遺跡(信濃町)、山
の神遺跡(大町市)、松原遺跡(長野市)

ほか

2 長野県宝記念展示

海戸遺跡(岡谷市)、花上寺遺跡(岡
谷市)、梨久保遺跡(岡谷市)、居沢尾根
遺跡(原村)、大石遺跡(原村)ほか

3 日本遺産認定記念展示

星糞峠黒曜石原産地遺跡(長和町)、
星ヶ塔黒曜石原産地遺跡(下諏訪町)

4 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡 展示

浅川扇状地遺跡群桐原宮北遺跡(長
野市)、長谷鶴前遺跡群(長野市)

〈主な展示資料〉

下茂内遺跡の槍先形尖頭器の製作関連
資料、貫ノ木遺跡の日本最古級の土器、
花上寺遺跡の有孔罎付土器、大石遺跡の
有孔罎付土器、黒曜石鉱山の出土土器と
黒曜石原石、桐原宮北遺跡の東海系土器
など。

〈行事〉

(1) 長野県立歴史館(北信会場)

○ミニシンポジウム

2019年4月20日(土)午後1
時30分~3時

・パネラー

長野県埋蔵文化財センター大竹
憲昭氏、長野県立歴史館町田勝
則、長野県立歴史館近藤尚義

・テーマ

「土器の登場 旧石器時代か終末
から縄文時代草創期の文化」

・参加者数 81名

(2) えんぱーく(塩尻市市民交流セ ンター)(中信会場)

○ミニシンポジウム

2019年8月10日(土)午後1時~3時

・コーディネーター

日本考古学協会 小林康男氏

・パネラー

塩尻市教育委員会 小松学氏、松

本市教育委員会 直井雅尚氏、安

曇野市教育委員会 土屋和章氏、

大町市教育委員会 島田哲男氏

・テーマ

「縄文土器の魅力パート1 - 松本平の縄文の魅力 -」

・参加者数 84名

(3) 飯田市美術博物館 (南信会場)

(台風19号接近により中止)

○ミニシンポジウム

2019年10月12日(土)午後1時30分~3時

・コーディネーター

長野県立歴史館 近藤尚義

・パネラー

塩尻市教育委員会 小松学氏、飯

田市教育委員 吉川金利氏

・テーマ

「縄文土器の魅力パート2」

〈印刷物〉 (各会場共通)

ポスター B2判表カラー 2,500部

チラシ A4判カラー 20,000部

リーフレット A3折カラー 8,000部

〈担当〉

考古資料課 西山克己、近藤尚義、

杉木有紗

● 春季展 2020年「長野県の考古学ーいのちをつなぐ技と交流ー」

令和元年3月25日(水)~令和2年

6月14日(日) [4月15日(水)~5

月31日(日) 新型コロナウイルス感染

症拡大防止のため臨時休館)

(年度内開催日数 6日間)

入場者数 240人 (3月末時点)

主催 長野県立歴史館

共催 長野県埋蔵文化財センター

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総

局・読売新聞長野支局・毎日新聞長

野支局・産経新聞長野支局・中日新

聞社・長野市民新聞社・市民タイム

ス・市民新聞グループ(7紙)・長

野日報社・南信州新聞社・NHK長野

放送局・SBC信越放送・NBS長野放

送・TSBテレビ信州・abn長野朝日

放送・(一社)長野県ケーブルテレ

ビ協議会・FM長野・FMぜんこうじ・

屋代有線放送電話農業協同組合・

(公財)八十二

文化財団

〈展示趣旨〉

縄文から弥生へー縄文時代後・晩期

(約4,500~2,500年前)の中部高地で

は生業の活動の変化を語る加工施設や

石器、広域な情報網があったと考えら

れる、土器や装身具が発見されていま

す。今回の展示では、寒冷化という環

境変化が生じていた中、人びとが食料

獲得・加工の技を向上させ、他地域と

の結びつきを深めていった姿を考古資

料から探り展示します。併せて、長野

県埋蔵文化財センターの最新の成果、

昨年に引き続いて長野県宝に指定された「信州の特色ある縄文土器」を展示公開します。

〈展示した主な遺跡〉

- 1 いのちをつなぐ技と交流
栗林遺跡(中野市)、北村遺跡(安曇野市)、宮崎遺跡(長野市) エリ穴遺跡(松本市)、中村中平遺跡(飯田市)、一津遺跡(大町市) ほか
- 2 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡
沢尻東原遺跡(辰野町)、南大原遺跡(中野市)
- 3 長野見宝指定記念「信州の特色ある縄文土器」
月見松遺跡(伊那市)、上の林遺跡(箕輪町)、中越2遺跡(宮田村) ほか

〈主な展示資料〉

栗林遺跡の水さらし場状遺構の保存処理後復元展示、北村遺跡の縄文時代後期土器とエナメル質滅形ある人骨、エリ穴遺跡の土製耳飾り、中村中平遺跡の土製耳飾り、一津遺跡のヒスイ製装身具、月見松遺跡の顔面把手付深鉢形土器、上の林遺跡の抽象絵画文有孔鏝付土器、沢尻東原遺跡出土土器・石器、南大原遺跡の出土土器と鉄加工関連出土品など。

〈印刷物〉 (各会場共通)

ポスター B2判表カラー 2,200部
チラシ A4判カラー 16,000部
リーフレット A3折カラー 5,000部

〈担当〉

考古資料課 西山克己、杉木有紗、
近藤尚義

●ミニ展示

「屋代に田んぼが作られるまで～縄文時代後・晩期の屋代遺跡群・更埴条里遺跡」

令和元年3月25日(水)～令和2年6月14日(日) [4月15日(水)～5月31日(日) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館]

(年度内開催日数 6日間)

入場者数 240人 (3月末時点)

主催 長野県立歴史館

〈展示趣旨〉

当館前の低地にスポットを当て、屋代遺跡群・更埴条里遺跡から出土した土器・石器から縄文時代後晩期～弥生時代中期の土地利用の変遷を描きます。

〈主な展示資料〉

縄文時代後期中葉の深鉢形土器、縄文時代晩期末葉の打製石斧、弥生時代中期の緑簾石を多量に含む壺、弥生時代前～中期の石包丁。

〈担当〉

総合情報課 寺内隆夫 水沢教子

Ⅲ 教育普及公開

1 学校・団体見学 実施記録

(1) 学校見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/12	金	9:00-10:30	小諸市立東小学校6年生	2	71	4	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立平野小学校6年生	2	71	4	○	探検	
		12:00-13:30	青木村立青木小学校6年生	2	48	3	○	探検	
		13:30-15:00	長野市立古牧小学校6年生	3	95	5	○	探検	
4/19	金	10:30-12:00	長野市立三輪小学校6年生	2	71	4	○	探検	
		13:00-15:00	長野市立大豆島小学校6年生	4	124	7	○	探検	
4/23	火	9:00-10:30	麻績村立麻績小学校6年生	1	23	3	○	探検	
		9:00-10:30	上田市立第四中学校1・2・3年生	1	4	2	○	探検	
		10:30-12:30	長野市立三本柳小学校6年生	4	112	5	○	探検	
		12:30-14:00	長野市立青木島小学校6年生	3	101	3	○	探検	
		13:30-15:00	須坂市立須坂小学校6年生	2	43	3	○	探検	
		13:30-15:00	須坂支援学校6年生	1	2	2	○	探検	2校合同で来館
4/24	水	9:00-10:30	長野市立加茂小学校6年生	1	31	2	○	探検	
		10:30-12:00	坂城町立村上小学校6年生	2	37	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立共和小学校6年生	2	50	3	○	探検	
		12:00-13:30	佐久市立青沼小学校6年生	1	4	2	○	探検	
		13:30-15:30	千曲市立埴生小学校6年生	4	110	4	○	探検	
4/25	木	10:00-12:00	長野市立篠ノ井西小学校6年生	4	125	5	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立篠ノ井東小学校6年生	3	83	4	○	探検	
4/26	金	9:00-10:30	長野市立塩崎小学校6年生	2	48	3	○	探検	
		9:30-11:00	上田市立長小学校6年生	1	27	3	○	探検	
		9:30-11:00	長野市立芹田小学校6年生	4	108	6	○		
		10:30-12:00	上田市立塩尻小学校6年生	1	28	2	○	探検	
		10:30-12:00	飯綱町立三水小学校6年生	2	33	2	○		
		11:00-12:30	小布施町立栗乃丘小学校6年生	3	99	5	○	探検	
		12:00-13:30	坂城町立南条小学校6年生	2	64	3	○	探検	
		12:30-14:00	上田市立西小学校6年生	2	64	3	○		
5/8	水	9:00-10:30	飯山市立秋津小学校6年生	1	25	2	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立中野小学校6年生	4	129	6	○	探検	
		12:00-13:30	安曇野市立徳高西小学校6年生	3	78	5	○	探検	
		13:30-14:45	大田区立出雲小学校6年生	3	95	8	○		
5/9	木	9:00-11:00	上田市立川辺小学校6年生	4	105	5	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立豊野東小学校6年生	2	36	2	○	探検	
		12:00-13:30	大町市立美麻小中学校6年生	1	12	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立川田小学校5・6年生	2	67	4	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立都南小学校6年生	1	38	4	○	探検	
5/10	金	9:00-10:30	長野市立城東小学校6年生	2	46	3	○	探検	
		9:00-10:30	長野ろう学校	1	4	2	○	探検	2校合同で来館
		9:00-10:30	長野市立西条小学校6年生	1	4	1	○	探検	
		10:30-12:00	長野日本大学小学校6年生	1	33	2	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立山王小学校6年生	2	42	3	○	探検	
		12:00-13:15	長野市立吉田小学校6年生	5	152	7	○		
		12:00-13:30	軽井沢町立軽井沢東部小学校6年生	1	24	2	○		
		13:30-15:00	長野市立保科小学校6年生	1	18	2	○	探検	
		13:30-15:00	須坂市立森上小学校6年生	2	62	3	○	探検	
		13:20-14:30	佐久市立中佐都小学校6年生	2	53	3	○		
		9:00-10:30	長野市立古里小学校6年生	3	108	5	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
5/14	火	10:30-12:00	佐久市立東小学校6年生	2	53	3	○	探検	
		12:00-13:30	野沢温泉村立野沢温泉小学校6年生	1	24	3	○	探検	
		13:00-14:30	大田区立大森第三小学校6年生	3	79	9	○	探検	
		13:30-15:00	朝日村立朝日小学校6年生	1	37	2	○	探検	
5/15	水	9:00-10:30	飯綱町立牟礼小学校6年生	2	51	4	○	探検	
		10:30-12:00	大田区立入新井第五小学校6年生	2	56	7	○	探検	
		10:30-12:00	練馬区立旭丘小学校6年生	1	18	6	○	探検	
		12:00-13:00	長野市立小柴見保育園	1	21	2			
		12:00-13:30	練馬区立開進第一小学校6年生	3	94	8	○	探検	
5/16	木	9:00-10:30	山形村立山形小学校6年生	3	77	5	○	探検	
		9:00-10:30	長野市立安茂里小学校6年生	2	56	3	○		
		10:30-12:00	長野市立徳間小学校6年生	3	104	5	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立神科小学校6年生	4	114	5	○		
		12:00-13:30	上田市立東小学校6年生	3	85	4	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立南部小学校6年生	3	84	5	○		
		13:00-15:00	中野市立高丘小学校6年生	1	35	2	○	探検	
		13:30-14:30	大田区立おなづか小学校6年生	2	61	7			
5/17	金	9:00-10:20	岡谷市立岡谷田中小学校6年生	2	71	4	○	探検	
		10:30-12:00	小谷村立小谷小学校6年生	1	18	2	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立本原小学校6年生	2	48	2	○	探検	
		11:30-12:40	大田区立池上第二小学校6年生	2	78	6	○	探検	
		12:30-13:00	長野市つましな保育園	3	41		○		
		13:30-15:00	安曇野市立堀金小学校6年生	3	99	5	○	探検	
5/21	火	9:00-10:30	松本市立明善中学校2年生	3	73	7	○	探検	
		9:30-10:30	大田区立新宿小学校6年生	2	65	7			
		10:30-12:00	安曇野市立豊科北小学校6年生	3	83	4	○	探検	
		12:00-13:30	木島平村立木島平小学校6年生	1	29	2	○	探検	
		13:00-15:00	コードアカデミー高等学校1・2・3年生	1	10	1			
		13:00-14:30	長野市立若根小学校6年生	2	69	4	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立東糺谷小学校6年生	2	63	7	○	探検	
5/22	水	10:30-12:00	須坂市立豊洲小学校6年生	1	31	2	○	探検	
		11:00-12:30	飯山市立飯山東小学校6年生	1	1	1	○	探検	2校合同で来館
		11:00-12:30	栄村立栄小学校6年生	1	5	3	○	探検	
		12:00-13:30	千曲市立治田小学校6年生	2	67	3	○	探検	
5/23	木	9:00-10:20	佐久市立浅科小学校6年生	2	47	3	○		
		9:00-10:30	佐久市立中込小学校6年生	2	63	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立綿内小学校6年生	2	65	3	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立多摩川小学校6年生	3	90	9	○	探検	
5/24	金	9:00-10:30	池田町立会染小学校6年生	1	33	3	○	探検	
		9:00-10:30	小諸市立千曲小学校6年生	1	19	2	○	探検	
		9:30-10:10	長野市立下水鮑保育園	3	59	9			
		10:00-11:30	南牧村立南牧北小学校6年生	1	9	2	○	探検	2校合同で来館
		10:00-11:30	南牧村立南牧南小学校6年生	1	15	1	○	探検	
		10:30-12:00	佐久市立岩村田小学校6年生	3	85	7	○	探検	
		10:30-11:30	白馬村立白馬北小学校6年生	2	59	6	○		
		12:00-13:30	軽井沢町立軽井沢中部小学校6年生	3	92	4	○	探検	
5/28	火	9:00-10:30	立科町立立科小学校6年生	2	51	4	○	探検	
		9:30-10:30	大田区立池上小学校6年生	2	76	7	○		
		9:45-11:00	長野県小海高等学校2年生	3	89	6	○		講演会
		10:30-12:00	佐久市立平根小学校6年生	2	36	3	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
		13:30-15:00	小海町立小海小学校6年生	1	26	2	○	探検	
5/29	水	10:30-11:40	国士舘大学	1	86	7	○		
5/30	木	9:00-11:00	小諸市立美南刃丘小学校6年生	4	107	5	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立清明小学校6年生	2	66	3	○	探検	
		11:30-13:00	練馬区立仲町小学校6年生	4	141	15	○		
		12:00-13:30	佐久市立佐久平浅間小学校6年生	3	89	4	○	探検	
5/31	金	9:20-10:50	飯山市立戸狩小学校6年生	1	23	2	○	探検	
		10:30-12:00	高山村立高山小学校6年生	2	68	3	○	探検	
		13:00-14:40	長野市立長沼小学校6年生	1	14	3	○	探検	
6/4	火	9:00-10:30	白馬村立白馬南小学校6年生	1	20	2	○	探検	
		9:00-10:30	須坂市立井上小学校6年生	2	46	3	○	探検	
		9:15-9:50	大田区立蒲田小学校6年生	2	78	6			
		10:30-12:00	南相木村立南相木小学校6年生	1	7	2	○	探検	2校合同で来館
		10:30-12:00	北相木村立北相木小学校6年生	1	16	1	○	探検	
		11:00-12:00	千曲市立戸倉小学校6年生	2	57	3	○		
		10:30-12:00	大町市立大町東小学校6年生	1	36	2	○	探検	
6/5	水	9:00-11:00	松本市立山辺小学校6年生	4	113	6	○	探検	
		10:30-12:00	東御市立和小学校6年生	2	56	4	○	探検	
		12:50-14:40	大田区立池雪小学校6年生	5	174	13	○		
		12:00-13:30	松本市立島内小学校6年生	3	105	4	○	探検	
6/6	木	9:00-10:30	須坂市立小山小学校6年生	2	70	4	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立城下小学校6年生	3	80	4	○	探検	
		12:00-13:30	安曇野市立豊科南小学校6年生	3	98	4	○	探検	
		13:30-14:20	長野市立東条小学校6年生	1	24	2	○	探検	
6/7	金	9:00-10:30	千曲市立屋代小学校6年生	2	61	3	○	探検	
		9:00-10:30	中野市立永田小学校6年生	1	9	2	○		
		10:30-12:00	千曲市立上山田小学校6年生	2	38	3	○	探検	
		12:00-14:00	長野市立下氷鉤小学校6年生	4	129	6	○	探検	
		13:30-15:00	東御市立祢津小学校6年生	2	43	4	○	探検	
6/11	火	9:00-10:30	中野区立啓明小学校6年生	2	50	8	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立寺尾小学校6年生	1	23	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立昭和小学校6年生	3	100	5	○	探検	
		13:30-15:00	小川村立小川小学校6年生	1	16	2	○	探検	
		13:30-15:00	坂城町立坂城小学校6年生	2	47	3	○	探検	
6/12	水	9:00-11:00	長野市立川中島小学校6年生	4	114	5	○	探検	
		11:00-12:30	長野市立大岡小学校6年生	1	2	2	○	探検	
		12:30-14:15	長野市立裾花小学校6年生	3	99	4	○	探検	
6/13	木	9:00-10:30	東御市立滋野小学校6年生	2	42	3	○	探検	
		10:00-11:00	練馬区立田柄小学校6年生	3	95	9			
		10:30-12:00	上田市立傍陽小学校6年生	1	13	2	○	探検	
		10:30-11:30	大田区立梅田小学校6年生	4	140	11	○		
		11:00-13:00	長野市立通明小学校6年生	4	118	5	○	探検	
6/14	金	9:00-11:00	長野市立緑ヶ丘小学校6年生	4	120	5	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立松ヶ丘小学校6年生	2	49	3	○		
		10:30-12:00	池田町立池田小学校6年生	2	43	3	○	探検	
		12:00-13:30	松川村立松川小学校6年生	3	81	3	○		
		13:00-15:00	安曇野市立穂高北小学校6年生	4	122	6	○	探検	
6/18	火	10:00-11:30	岡谷市立長地小学校6年生	4	127	5	○	探検	
		13:30-15:00	千曲市立五加小学校6年生	3	71	5	○	探検	
6/19	水	10:30-12:00	上田市立神川小学校6年生	3	97	4	○	探検	
		9:00-10:30	安曇野市立三郷小学校6年生	5	159	10	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
6/20	木	13:30-14:40	上田市立東塩田小学校6年生	2	47	4	○	探検	
		14:30-16:00	松本市立奈川中学校1・2年生	1	2	3	○	探検	考古バックヤード処理室等見学
6/21	金	9:00-14:30	松本市立鎌田小学校6年生	4	149	6	○	探検	
		10:30-12:00	安曇野市立豊科東小学校6年生	1	37	3	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立豊井小学校6年生	1	24	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立城山小学校6年生	2	64	3	○		
6/25	火	13:30-15:00	練馬区立光が丘夏の雲小学校6年生	3	90	8	○		
6/26	水	9:40-10:30	練馬区立旭町小学校6年生	2	52	8	○		
		10:30-12:00	生坂村立生坂小学校6年生	1	11	2	○		
6/28	金	9:00-10:30	伊那市立伊那小学校4学年	3	104	7	○	探検	
		10:30-12:00	小諸市立坂の上小学校6年生	2	51	4	○		
		10:30-12:00	安曇野市立明南小学校6年生	1	32	3	○	探検	
		13:30-14:50	山ノ内町立山ノ内南小学校6年生	1	21	2	○		
7/2	火	9:00-10:30	松本市立菅野小学校6年生	3	94	5	○	探検	
		10:30-12:00	山ノ内町立西小学校6年生	1	19	2	○	探検	
		10:30-12:00	千曲市立更級小学校6年生	1	20	2	○	探検	
		13:00-15:00	松本市立芳川小学校6年生	4	117	6	○	探検	
		14:30-15:30	大田区立中富小学校6年生	1	28	4	○	探検	
7/3	水	10:30-12:00	中野市立日野小学校6年生	1	18	2	○	探検	
		11:00-11:30	大田区立小池小学校6年生	4	117	11	○		
7/4	木	9:20-10:20	大田区立矢口西小学校6年生	3	100	9	○		
		10:30-12:00	信州大学附属松本小学校6年生	2	62	2	○		
		10:30-12:00	練馬区立南が丘小学校6年生	2	49	8	○	探検	
		12:00-13:30	練馬区立関町北小学校6年生	2	82	9	○	探検	
		12:00-13:30	佐久市立切原小学校6年生	1	23	2	○	探検	
		13:30-14:20	長野市立柳原小学校6年生	2	70	3			
7/5	金	9:00-10:30	上田市立浦里小学校6年生	1	15	1	○	探検	
		10:30-12:00	安曇野市立明北小学校6年生	1	17	2	○	探検	
7/9	火	9:00-10:30	佐久市立佐久城山小学校6年生	2	64	3	○	探検	
		11:00-12:30	上田市立北小学校6年生	3	78	4	○	探検	
		13:30-15:00	上田市立武石小学校6年生	1	21	3	○	探検	
7/10	水	9:30-11:00	大田区立東調布第一小学校6年生	3	117	9	○	探検	
		13:30-15:00	長野市立浅川小学校6年生	3	82	5	○	探検	
7/11	木	9:00-10:30	飯山市立飯山小学校6年生	3	70	4	○	探検	
		9:40-11:40	埼玉大学教育学部附属中学校2学年の1グループ	1	27	1	○	探検	個人テーマ支援学習
		14:00-15:30	諏訪市立城南小学校4年生	3	102	6	○	探検	
		14:30-16:00	千曲市立東小アプリコットタイム	1	22	2	○		
7/12	金	9:00-10:30	上田市立豊殿小学校6年生	2	38	3	○	探検	
		13:30-15:00	千曲市立八幡小学校6年生	2	40	3	○	探検	
7/13	土	12:30-14:00	京都大学文学部考古学研究室	1	14	2	○		
		14:15-15:30	富山大学人文学部考古学研究室	1	13	2	○		
7/15	月	10:30-12:00	滋賀大学	1	23	2			
7/17	水	14:25-15:25	富士見町立境小学校4年生	1	20	4	○		
7/18	木	9:00-10:30	中野市立延徳小学校6年生	1	33	2	○	探検	
7/19	金	9:00-10:30	上田市立丸子中央小学校6年生	3	73	5	○	探検	
		10:15-11:15	駒ヶ根市立赤穂東小学校6年生	3	82	5	○		
		10:00-11:15	長野盲学校	1	2	2	○	探検	
7/25	木	10:30-12:00	佐久穂町立佐久穂小学校6年生	3	85	6	○	探検	
8/6	火	10:00-11:20	稲荷山くるみこども園	2	36	5			
8/9	金	9:00-11:00	京都女子大学	1	32	2	○	探検	
		9:00-10:30	上田市立川西小学校6年生	2	45	2			

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
8/27	火	13:30-14:30	川上村立川上第二小学校6年生	1	20	5			
		13:30-14:10	上田市立丸子北小学校6年生	2	60	4			
		14:30-15:30	中野市立倭小学校6年生	1	11	2			
8/29	木	10:00-11:30	岡谷市立上の原小学校6年生	1	35	4			
9/4	水	9:00-10:30	中野市立平岡小学校6年生	2	44	3	○	探検	
9/5	木	9:30-11:50	大田区立山王小学校6年生	4	124	10	○	探検	
9/6	金	10:10-11:30	大田区立大森東小学校6年生	1	23	4	○	探検	
9/10	火	9:00-10:30	長野市立湯谷小学校6年生	3	74	4	○	探検	
9/10	火	10:30-11:30	大田区立調布大塚小学校6年生	1	38	4			
		13:00-16:00	専修大学文学部歴史学科	1	18	1	○	探検	
		13:30-15:00	上田市立南小学校6年生	3	96	4	○	探検	
9/11	水	9:30-16:00	専修大学文学部歴史学科	1	18	1	○		
		13:30-15:00	大田区立雪谷小学校6年生	3	115	10			
9/12	木	10:30-12:00	大田区立志茂田小学校6年生	2	41	8	○	探検	
9/13	金	9:30-10:30	皇學館大学	1	10	1			
		12:30-13:30	長野県富士見高等学校1年生	2	76	5	○		
9/16	月	12:00-13:30	大田区立東蒲小学校6年生	2	43	6	○	探検	
9/19	木	10:30-12:00	長野市立戸隠小学校6年生	1	19	2	○		
		12:30-13:30	中野区立中野本郷小学校6年生	2	73	8	○		
9/20	金	10:30-12:00	山ノ内町立山ノ内東小学校6年生	2	50	5	○		
		11:30-12:30	練馬区立練馬第三小学校6年生	2	60	5	○		
9/23	月	12:30-14:00	大田区立道塚小学校6年生	3	99	9	○	探検	
9/25	水	10:30-12:00	大田区立仲六郷小学校6年生	2	50	7	○	探検	
9/26	木	9:30-11:00	大田区立東調布第三小学校6年生	2	57	6	○	探検	
		13:30-15:00	練馬区立大泉第一小学校6年生	2	54	6	○	探検	
		14:10-15:40	千曲市立東小アブリコットタイム	1	22	3	○	探検	
9/27	金	9:30-11:00	佐久平総合技術高校1年生	2	77	4	○	探検	
		11:45-12:30	練馬区立開進第四小学校6年生	3	91	9			
10/3	木	10:20-11:50	佐久市立泉小学校6年生	2	41	3	○	探検	
		13:20-14:50	大田区立開桜小学校6年生	3	105	9	○	探検	
10/4	金	10:30-12:00	大田区立矢口東小学校6年生	2	45	6	○	探検	
10/6	日	9:10-10:20	佐久市立野沢小学校6年生	3	115	5	○		
10/8	火	10:30-12:00	上松町立上松中学校3年生	1	2	2	○	探検	
10/9	水	13:00-14:00	長野市立松代小学校6年生	2	48	3	○		
		15:00-16:10	飯田市立座光寺小学校4年生	2	36	4	○	探検	
10/10	木	10:00-11:30	練馬区立大泉南小学校6年生	3	106	10	○	探検	
10/11	金	11:30-12:50	長野市立青木島保育園	3	41	6			
		14:00-16:00	長野吉田高校1年生	1	24	2	○	探検	講演会
10/14	月	13:30-15:00	大田区立羽田小学校6年生	2	53	7	○	探検	
10/16	水	9:30-10:30	長野市寺尾保育園	2	30	7	○		
10/17	木	9:30-11:00	大田区立徳持小学校6年生	3	89	9			
		10:40-12:00	稲荷山養護学校5年生	3	17	12			
10/18	金	9:30-10:30	長野市昭和保育園	4	74	13			
		13:30-15:00	松本市立本郷小学校6年生	2	47	3	○	探検	
10/22	火	12:45-14:15	大田区立西六郷小学校6年生	2	63	6	○	探検	
10/24	木	9:30-11:00	大田区立入新井第二小学校6年生	3	99	8	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立七二会小学校5・6年生	1	11	2	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立六郷小学校6年生	2	41	6	○	探検	
11/7	木	9:00-10:30	松本市立二子小学校6年生	2	42	3			
11/8	金	9:00-10:00	上田市立塩田西小学校6年生	2	49	3			
		10:30-12:00	中野市立科野小学校6年生	1	7	1			

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
11/12	火	10:30-12:00	須坂市立日滝小学校6年生	2	57	3	○		
		9:30-15:30	専門学校 長野ビジネス外語カレッジ	3	257	5			
11/15	金	9:00-11:00	松本市立開明小学校6年生	4	116	6	○		探検
		10:30-12:00	飯山市立常盤小学校6年生	1	13	2	○		探検
11/19	火	13:30-15:00	須坂市立旭ヶ丘小学校6年生	1	28	2	○		探検
11/21	木	12:00-14:00	御代田町立御代田南小学校6年生	4	106	6	○		探検
11/22	金	9:20-10:20	大町市立大町西小学校6年生	2	39	3	○		
11/26	火	9:00-10:30	須坂市立高甫小学校6年生	1	32	3	○		探検
12/11	水	9:30-11:00	長野市立篠ノ井西小学校6年2組	1	30	2	○		探検
1/23	木	10:00-12:00	グリーン・ヒルズ小学校3~6年生	2	10	2	○		探検
1/25	土	10:10-12:10	伊那弥生ヶ丘高校2年生	1	4	3	○		見学 考古バックヤード処理室等見学
2/4	火	10:00-12:00	愛知学院大学歴史学科先史考古ゼミ	1	7	1	○		見学 考古バックヤード処理室等見学
2/13	木	9:30-11:00	小川村立小川小学校3年生	1	14	2	○		
合計					556	15,289	1,122	237	

(2) 教育関係機関視察及び見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/25	木	11:30-13:30	練馬区教育委員会		16		○	見学	常設展解説、バックヤード視察
5/9	木	15:00-16:30	長野県町村会		12		○	見学	常設・企画展解説、バックヤード視察
6/6	木	14:20-15:05	中野区教育委員会		11		○	見学	常設展解説、バックヤード視察
7/11	木	8:30-14:30	総合教育センター		16		○	見学	「歴史学習の教材」
7/26	金	9:50-10:50	大田区教育委員会		66		○	見学	常設展解説、バックヤード視察
7/31	水	10:00-12:30	信大免許更新A		46		○	見学	「歴史館で教材開発」
8/1	木	10:00-12:30	信大免許更新B		48		○	見学	「歴史館で教材開発」
10/1	火	10:30-12:00	山梨県立博物館協力会		16		○		常設・企画展解説
11/16	土	10:20-12:20	信大免許更新C		42		○	見学	「歴史館で教材開発」
2/14	金	10:00-15:10	信州大学博物館情報・メディア論		62		○	見学	常設・企画展解説、バックヤード視察
合計					335		10		

(3) 一般団体見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/12	金	9:00-10:30	青木様		3		○	見学	
4/16	火	10:00-12:00	いざよい会		10		○	見学	
5/3	金	13:30-14:30	エイ・エス・カンパニー		10	6	○	見学	
5/11	土	10:00-12:00	上田社会教育大学歴史学科		7		○		
5/21	火	14:30-15:00	松本市庄内公民館		15				
5/26	日	10:00-11:00	赤石地域青少年健全育成事業「レッツちやれん見」		3		○		
		11:20-12:20	毎日新聞旅行 毎日教養講座		10		○		
6/19	水	13:30-14:30	石渡長寿会		26				
6/20	木	9:40-10:40	萩原館		17				
		15:00-16:00	JAながの女性部みゆき支部		12				
6/21	金	10:00-12:00	佐久穂町文化財保護審議会		10		○	見学	
6/23	日	9:40-10:40	五十平区		25				
		9:30-11:30	宮前公民館文化部文化講座		24		○	見学	
6/25	火	14:00-15:00	安曇野市中萱長寿会		26				
6/25	火	14:30-15:30	一里塚友和会		12				
6/26	水	14:00-15:00	安曇野市豊科重柳老人クラブ		19				
7/10	水	10:30-11:50	長野市立七二会公民館		15		○	見学	
7/14	日	9:30-10:30	コスモダンスサークル		16		○		
7/24	水	11:15-12:00	みつまめ		13				
7/25	木	9:40-10:30	伊那古典の会		8		○		
7/26	金	15:00-16:30	屋代小学校6年生職員		18		○	見学	
7/28	日	10:00-11:00	上山田小学校6年生 八坂支部		34		○		

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックワード	備考
7/31	水	14:00-16:00	長野上水内中学校事務研究会南部ブロック		16		○	見学	
8/6	火	11:00-12:15	山ノ内町子ども会育成連絡協議会		29		○	見学	
8/22	木	10:45-12:00	NPO法人こすもけあくらぶ		11		○	見学	
9/3	火	9:10-10:00	上田市西部公民館		27		○		
		10:40-11:40	伊那人権擁護委員協議会		37		○		
9/4	水	11:00-14:00	木島平村公民館		13		○	見学	
9/8	日	9:10-10:40	安曇野市岩原公民館		42		○	見学	
9/18	水	10:10-11:30	松本市鎌田地区公民館		24		○		
9/19	木	9:30-10:30	丸子女性団体連絡協議会		20		○		
		13:00-13:45	明治大学博物館友の会弥生文化研究会		22		○		
9/23	月	10:00-11:30	沢村町会		27		○		
		14:00-15:30	長野手話サークル		37		○	見学	
9/26	木	9:00-10:00	豊科郷土博物館		23		○		
10/8	火	9:20-11:20	シニア大学 佐久学部		93		○	見学	
		10:00-12:00	若穂郷土史研究会		12				
		10:45-12:30	丸子史料研究会		15				
		14:00-15:30	長寿社会開発センター北信地区		41		○	見学	
10/9	水	9:45-10:45	白馬村文化財審議委員		8		○		
10/10	木	9:15-11:15	正麟寺		33		○	見学	
		10:30-12:00	八幡グループホームみのり		17				
10/11	金	9:15-10:30	長野市立更北公民館		40		○	見学	
10/17	木	10:00-11:00	清野子どもプラザ		24		○		
		10:10-13:30	塩尻ロマン大学19期生		38		○		
10/22	火	9:00-10:00	平塚市保護司会		25				
		13:45-14:45	O・S Mの会(奈良大学同期会)		27		○		
10/28	月	10:00-12:00	松本市白板地区公民館		14				
10/29	火	9:30-11:30	須坂市勤労者協議会		10				
		10:00-12:00	望月歴史民俗資料館		33				
		14:00-15:00	松川村公民館		20				
			東御市シニア大学		22				
10/30	水		社東町史談会		23				
			日本フェンオールOB会		12				
		12:20-13:50	クラブツーリズム名古屋テーマ旅行センター		41	1			
10/31	木	9:20-10:10	長野市芹田公民館		18				
			豊丘村史学会		53				
			大桑村史学会		14				
11/1	金	13:30-14:50	更埴労働基準協会 職員親睦会		20				
			福満寺		23				
11/2	土	12:20-13:50	クラブツーリズム名古屋テーマ旅行センター		20	1			
11/4	月	10:00-12:00	柳原地区住民自治協議会		18				
		10:00-15:00	縄文学校		17				
11/5	火	10:30-11:30	齊藤ホテル		13				
11/6	水	9:00-10:45	平出遺跡ボランティア「どんぐりの会」		14				
		15:10-17:00	クラブツーリズム関西テーマ旅行センター		22				
		16:00-17:00	長野市立大豆島小学校6年生職員		29				
11/7	木	14:00-15:40	ジパング大人の休日JR東日本		17	2			
11/8	金	13:30-15:00	NPO法人心の休憩所アトリエ虹		7	3			
		13:45-14:30	七久保槐会・ぼたん会		16				
11/9	土	9:00-11:00	クラブツーリズム歴史への旅		34	3			
		14:00-15:00	糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会		17				
11/10	日	9:50-10:40	あざみの会		10				

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
11/20	水	14:50-15:50	田沢百寿会		18				
11/28	水	10:00-11:30	松本市鎌田地区公民館		26				
		15:00-16:00	山形村教育委員会文化財保護委員会		9		○		
11/30	土	9:50-13:30	上伊那広域連合 郷土愛プロジェクト		50		○	見学	KOAの日関連
12/3	火	13:30-15:00	シニアクラブ春木町春寿会		24		○		
12/6	金	9:45-10:45	荒井武志後援会女性部		33		○		
		10:15-11:45	齊藤ホテル		8		○		
12/7	土	10:00-12:00	白板地区公民館		10		○		
12/11	水	10:00-11:00	社会福祉法人フランセーズ悠こうしょく		2	4	○		
12/13	金	10:15-11:45	齊藤ホテル		5		○		
12/20	金	10:15-11:45	齊藤ホテル		6	1	○		
12/22	日	10:30-11:30	松本市田川地区公民館		14		○		
12/24	火	15:00-16:00	富士見町井戸尻考古館		5		○		
1/12	日	10:10-11:10	東京都の社会科を考える会		19		○	見学	
1/21	火	9:30-12:00	松代文化財ボランティアの会		15		○	見学	
1/29	水	9:40-10:40	全農長野		13				
2/1	土	10:30-15:00	富士見町井戸尻考古館		25		○		
2/16	日	14:00-15:50	聖クラブ		14		○	見学	
2/23	日	14:30-16:00	埴生公民館杭瀬下分館		17		○	見学	
合計					1,884		50		

2 企画展関連講演会等

月 日	テーマ	講師 等	参加者数
4月20日	・長野県の考古学 -時代を映す匠の技-シンポジウム 「土器の登場 旧石器時代終末から縄文時代草創期の文化」	パネリスト:大竹憲昭 氏(長野県埋蔵文化財センター)、町田勝則(当館職員)、近藤尚義(当館職員)	81
7月6日	・収蔵品展関連ギャラリートーク 「初公開 これが六角宝幢だ」	町田勝則(当館職員)	21
7月13日	・収蔵品展関連ギャラリートーク 「石器の話」	町田勝則(当館職員)	16
7月20日	・収蔵品展関連ギャラリートーク 「縄文土器の名品を見る」	水澤教子(当館職員)	50
7月27日	・収蔵品展関連ギャラリートーク 「久しぶり 天養文書の原本を見る」	村石正行(当館職員)	18
8月10日	・収蔵品展関連ギャラリートーク 「吉田初三郎の鳥瞰図と戦前の『観光信州』」	林誠(当館職員)	12
8月10日	・長野県の考古学 -時代を映す匠の技-シンポジウム 「縄文土器の魅力 -松本平の縄文の魅力-」 (会場:塩尻えんぱーく)	パネリスト:小林康男(日本考古学協会)、直井雅尚(松本市教委)、土屋和章(安曇野市教委)、島田哲男(大町市教委)	84
9月14日	・秋季企画展関連講演会 「塩尻峠の合戦」	笹本正治(当館館長)	220
	・秋季企画展関連ギャラリートーク	村石正行(当館職員)	51
9月21日	・秋季企画展関連講演会 「小笠原長時のネットワーク」	村石正行(当館職員)	156
	・秋季企画展関連ギャラリートーク	村石正行(当館職員)	76
9月28日	・秋季企画展関連講演会 「小笠原氏を中興した貞慶」	村石正行(当館職員)	134
	・秋季企画展関連ギャラリートーク	村石正行(当館職員)	83
10月5日	・秋季企画展関連講演会 「飯田藩・松本藩時代の小笠原秀政」	村石正行(当館職員)	141
	・秋季企画展関連ギャラリートーク	村石正行(当館職員)	58
10月27日	・特別企画展「国宝土偶」関連講演会 「縄文土偶のかたち、楽しみ方」	文化庁主任調査官 原田昌幸 氏	145
11月9日	・特別企画展「国宝土偶」関連講演会 「縄文土偶のかたち、楽しみ方」	茅野市尖石縄文考古館館長 守矢昌文 氏	174

11月23日	・特別企画展「中部高地の土偶」関連講演会 「長野県内出土土偶」	寺内隆夫(当館職員)	98
	・特別企画展「中部高地の土偶」関連ギャラリートーク	寺内隆夫(当館職員)	48
12月7日	・特別企画展「中部高地の土偶」関連ギャラリートーク	水澤教子(当館職員)	58
1月18日	・特別企画展「中部高地の土偶」関連報告会 「長野県内出土の土偶をめぐって」	長野県土偶研究会	99
1月19日	・特別企画展「中部高地の土偶」関連シンポジウム 「土偶の仕舞い方」	土偶研究会(全国)、 長野県考古学会	106
1月13日	・特別企画展「中部高地の土偶」関連イベント	ラヴィちゃんと遊ぼう	82
2月1日	・特別企画展「中部高地の土偶」関連イベント	写生会優秀作品表彰式	70

3 講座

(1) 県立歴史館の信州学講座

① 館内

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月18日(土)	広い世界とつながる信州	笹本正治	101
6月8日(土)	石器から読み解く縄文時代の生業と黒曜石の生産活動	塚原秀之氏 (長野市教育委員会)	73
10月19日(土)	博物館で考える信州の温泉	千賀康孝氏(松本市立博物館)	51
12月7日(土)	土偶と土器胎土	水沢教子	107
2月8日(土)	受け継いでいく長野五輪の遺産	畔上不二男	40
2月22日(土)	ヨーロッパを目指した若き才能ー荻原守衛・丸山晚霞・中村不折ー	林 誠	中止 (新型コロナウイルス感染症対応)
3月7日(土)	地域の縄文文化遺産を活かす	寺内隆夫	中止 (新型コロナウイルス感染症対応)

② 信州学出前講座 in 上田

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
8月24日(土)	上田市立信濃国分寺資料館 講堂	弥生時代終末から古墳時代の渡来文化	西山克己	56

③ 信州学出前講座 in 箕輪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
9月21日(土)	箕輪町地域交流センター 研修室	信州の城と石垣	白沢勝彦	72
		『信州学』戦争と平和を考えるヒント	福島良彦	

④ 信州学出前講座 in 諏訪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
11月23日(土)	諏訪市博物館 学習室	伊能忠敬と信州	小野和英	45

⑤ 信州学出前講座 in 安曇野

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
1月25日(土)	安曇野市郷土博物館 学習室	室町時代諏訪信仰を広めたのは誰だ	村石正行	70

(2) 考古学講座 『時代を映す“匠”の技』

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月25日(土)	石槍の製作－命をつなぐ道具作りへの挑戦－	近藤尚義	54
7月20日(土)	縄文人の材料選択と土器作り	水沢教子	98
12月14日(土)	石斧の製作－旧石器から弥生、石斧の移り変わり－	町田勝則	62

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A:6月1日(土) B:6月13日(木)	文書を見る	小野和英	45 46
A:7月6日(土) B:7月11日(木)	立屋口留番所史料を読む1	小野和英	35 45
A:8月3日(土) B:8月8日(木)	立屋口留番所史料を読む2	小野和英	34 42
A:9月15日(土) B:9月12日(木)	寺澤家の「世帯道具」参	伊藤友久	32 41
A:10月5日(土) B:10月10日(木)	文書から見る長野県誕生式	伊藤友久	33 36

②中級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A: 6月1日(土) B: 6月13日(木)	土地証文の世界 担保文言を探る	村石正行	41 46
A: 7月6日(土) B: 7月11日(木)	千曲川通船史料を読んでもみよう1	村石正行	38 41
A: 8月3日(土) B: 8月8日(木)	千曲川通船史料を読んでもみよう2	村石正行	32 40
A: 9月15日(土) B: 9月12日(木)	松本藩小笠原秀政関係文書を読む	畔上不二男	32 40
A: 10月5日(土) B: 10月10日(木)	天下人の文書を読む	畔上不二男	38 39

③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5月17日	元文五年上田運野町本陣日記(抄)	尾崎行也	20
6月15日	元文五年上田運野町本陣日記(抄)	尾崎行也	16
7月17日	問屋史料を読む	尾崎行也	17
8月17日	問屋史料を読む	尾崎行也	17
9月17日	問屋史料を読む	尾崎行也	17

4 考古学セミナー

長野県考古学会との共催による。

日時	テーマ	講師	参加者数
6月16日(日) 13:30~15:15	藤森栄一賞受賞記念講演 「中世伊豆地域の諸相 出土遺物が語る武士の本拠」 長野県宝指定について 「信州の特色ある縄文土器」	池谷 初恵 氏 (伊豆の国市教育委員会文化財調査課) 会田 進 氏 (前長野県文化財保護審議会委員)	82
12月1日(日) 13:30~15:15	今、黒曜石考古学がおもしろい 「旧石器人はどのように黒曜石を使ったか」 「縄文人の黒曜石採掘活動 -発掘された星養峠黒曜石縄文鉱山-」 「黒曜石はどこで拾ったか -原石採集地の推定法-」	堤 隆 氏 (明治大学黒曜石研究センター) 大竹 幸恵 氏 (黒曜石体験ミュージアム) 中村 由克 氏 (下仁田町自然史館/明治大学黒曜石研究センター)	77

5 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催として実施。「近世の災害とその復興」をテーマにして、3名の発表があった。

日時	テーマ	講師	参加者数
12月8日(日) 10:30~15:10	研究発表1 「学際的に考える洪水 -戊の満水について-」 研究発表2 「近世飯田町の火災復興と消防体制」 講演 「日本震災史-今、なにが問われているのか」	青木隆幸会員 伊坪達郎会員 北原糸子氏(立命館大学歴史都市防災研究所 客員研究員)	120

6 講習会

(1) 考古資料保存処理講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
12月18日(水)	「土器・土製品と石造物の保存修復と 保管環境」	講義・実習・質疑応答 白沢勝彦	39

(2) 文献史料保存活用講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月20日(木) 12:40~15:00	第1回講習会 文書館の設立と地域の動きー地域文書の現 状と課題ー 松本市文書館施設(公文書室・地域文書室・ 写真資料室等)の説明	小松芳郎氏(松本市文書 館特別専門員) 関沢聡氏(松本市文書館 館長)ほか	38
11月14日(水) 11:00~16:30	第2回講習会(初日) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国 (安曇野)大会 文書館をつくる ー市町村 が拓くアーカイブズ活動ー	加藤丈夫氏(独立行政法 人国立公文書館館長) 小松芳郎氏(全国歴史資 料保存利用機関連絡協議 会参与・松本市文書館特 別専門員)ほか	62
11月15日(金) 9:00~16:50	第2回講習会(二日目) 安曇野市文書館の開館について ー公文書 館機能ミニマムモデルの活用ーほか	青木弥保氏(大会研修委 員・安曇野市文書館博物 館係主査)ほか	
2月20日(木) 10:00~16:00	第3回講習会(選択日講習) 古文書の効果的な撮影方法	井上聡(東京大学史料編 纂所准教授)	35
2月21日(金) 10:00~16:00	【前半】 座学:文書を撮影する 【後半】 実習:機材の組み立て・史料撮影実習	谷昭佳(東京大学史料編 纂所技術専門員) 高山さやか(東京大学史 料編纂所技術専門員)	

7 各種講習会・イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	石のアクセサリーづくり	112
		プラ板マスコットづくり	64
		縄文人になって遊ぼう！	234
		バックヤード探検	64
7月11日	総合教育センター研修講座	歴史学習の教材研究	16
6月20日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①		38
7月31日8月1日	教員免許状更新講習	歴史館で教材開発	93
8月2日	埋文チャレンジ教室	ドキジローのペーパークラフト	60
8月4日	歴史館で夏休み	石のアクセサリーづくり	70
		プラ版マスコットづくり	107
		バックヤード探検	61
		縄文人になって遊ぼう	183
		昔話ビデオ上映	167
10月30日	千曲市の日	千曲市民無料入館	711
11月14日・15日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②		62
11月16日	教員免許状更新講習	歴史館で教材開発	42
11月17日	子育て家庭優待日（いい育児の日）	どきmoドキ 作製	73
11月30日	KOAの日関連	縄文風クリスマスリースをつくろう！	22
		バックヤード探検	30
12月18日	考古資料保存処理講習会	土器・土製品と石造物の保存修復と保管環境	39
1月13日	土偶展関連イベント	お面づくり、着ぐるみと写真撮影	142
2月1日	土偶写生大会表彰式		70
2月14日	信州大学学芸員資格取得講座		62
2月20日・21日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会③		35

8 展示解説

事前に解説を申し込んだ団体を対象に展示解説を実施（解説実施 団体）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学校数	27	80	55	35	6	24	20	11	1	2	2	0
一般団体数	2	5	9	6	3	10	23	19	9	3	3	0
小計	29	85	64	41	9	34	43	31	10	5	5	0

9 学校との連携

(1) 千曲市立東小学校との連携

- ・総合的な学習の時間「アプリコットタイム」の講座「歴史探検」
年間7回を学校と共に計画を立案し、勾玉作り、ペーパークラフト作り、黒曜石ナイフ・弓矢体験学習等の講師を務めた。

(2) 埼玉大学教育学部附属中学校2年生への学習支援（7月11日）

- ・当館の見学に合わせて設定した個人研究テーマに基づき学習支援を行った。事前に送られてきた質問への回答を行い、見学当日も疑問に答えたり、学習の進め方へのアドバイスを行ったりするなどの支援をした。生徒27名。

(3) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月11日）

- ・研修講座〔歴史学習の教材研究～長野県立歴史館の資料を活用して～〕 16名
講義「地域素材の教材化」の講師を務めた。
演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。

(4) 信州大学教員免許更新講習の開設（7月31日、8月1日、11月16日 計3日間）

- ・「信州大学と長野県教育委員会との連携に関する協定」に基づき、当館を会場にして講習を開設した。（受講者は3回の合計で135名）
- ・学芸部長、総合情報課長による講義、館内の案内、演習時の支援等を行った。

(5) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（2月14日）

- ・信州大学学芸員資格取得講座「博物館情報・メディア論」の授業の一部を当館で実施した。（受講者は62名）
- ・当館職員と信州大学教員による講義および館内施設を活用して演習を行った。

(6) お出かけ歴史館事業の実施

- ・実施計画を立案し、上伊那・下伊那・木曾地方、そして今年度から諏訪地方の小中学校、公民館も加えて広報活動を行った。
- ・実施した学校数：5校、学級数：8学級、公民館数2館3講座、実施人数191名。
詳細は以下の通り。新型コロナウイルス流行の影響で、3月に実施予定であった3校8学級148名はキャンセルとなった。

平成31年6月27日(木) 阿南町立阿南第二中学校(下伊那郡阿南町)

対象：中学校1年生 1クラス 7名

内容：土器や石器にふれよう

担当：大森、宮坂

令和元年8月8日(木) 南箕輪村役場子育て支援課(上伊那郡南箕輪村)

対象：小学校1～6年生 のべ62名(午前10名 午後52名)

内容：ペーパークラフトで土器をつくろう(午前)

縄文人になろう(午後)

担当：加藤、宮坂

9月7日(土) 駒ヶ根市東伊那公民館(駒ヶ根市)

対象：小学校1～6年生とその保護者 25名

内容：縄文人になろう

担当：加藤、宮坂

12月5日(木) 辰野町立川島小学校(上伊那郡辰野町)

対象：小学校4～6年生 9名(4年生2名・5年生3名・6年生2名)

内容：土器や石器にふれよう

担当：大森、宮坂

12月12日(木) 木曾町立日義小中学校(木曾郡木曾町)

対象：小学校6年生 2クラス 16名

内容：縄文人になろう(3校時)

戦国時代の木曾を生きた木曾義昌(4校時)

担当：加藤、宮坂

12月18日(水) 茅野市立豊平小学校(茅野市)

対象：小学校4年生 35名

内容：縄文人になろう

担当：大森、宮坂

1月23日(木) 木祖村立木祖小学校(木曾郡木祖村)

対象：小学校5年生 21名

内容：まが玉をつくろう

担当：加藤、宮坂

10 博物館実習

- ・実習期間 9月4日(水)～9月14日(土) 9月9日(月)を除く10日間
- ・実習生 6名
- ・内 容 博物館学概論、展示概論(1・2)、展示演習(展示解説1～5、演示具等)、解説実習(A・B)、考古資料実習(1～4)、文献史料実習(1～7)、資料の撮影、資料の防災対策等、資料閲覧・図書の実務、教育普及活動(1～4)、館長講和、課題討論「県立歴史館の役割～未来への橋渡し」

11 インターンシップ

- ・実習期間 8月22日(木)～23日(金)の2日間を1名、9月4日(水)～6日(金)の3日間を3名
- ・実習生 4名
- ・内 容 博物館学等の講義、展示の実務、考古資料の実務、文献史料の実務、普及啓発に関する実務 他

12 職場体験学習

- (1) 中学生による職場体験学習(6校、21名、のべ17日間、59名)
 - 6月26日～28日(3日間) 千曲市立屋代中学校2年生(4名)
 - 7月17日～18日(2日間) 長野市立川中島中学校2年生(4名)
 - 7月17日～19日(3日間) 長野市立広徳中学校2年生(3名)
 - 7月17日～19日(3日間) 長野市立篠ノ井東中学校2年生(2名)
 - 7月23日～25日(3日間) 千曲市立埴生中学校2年生(5名)
 - 9月3日～5日(3日間) 千曲市立戸倉上山田中学校2年生(3名)
- (2) 高校生による就業体験学習(5校、9名、のべ9.5日間、13.5名)
 - 7月30日(1日間) 長野県屋代高等学校1年生(5名)
 - 8月2日(半日間) 長野県須坂高等学校1年生(1名)
 - 8月2日～4日(3日間) 長野県上田染谷丘高等学校2年生(1名)
 - 8月2日～4日(3日間) 長野県上田東高等学校3年生(1名)
 - 8月6日～7日(2日間) 長野県屋代南高等学校1年生(1名)
- (3) 社会人研修(2校、2名、のべ4日間、4名)

- 8月 6日～ 7日 (2日間) 上田市立第三中学校教職員 (1名)
- 8月 7日～ 8日 (2日間) 千曲市立東小学校教職員 (1名)

13 サークル育成活動

○ 古文書愛好会

(1) 館蔵文書を読む会

今井家文書 ①10-3-19-3-19-2「文化三年御入院用記」

②10-3-19-4-1・2「文政江戸 善光寺御開帳御願用記 乾・坤」

内容：解説し全体で検討を行い、史料を読み解き、翻刻して50部製本した。

7月4日(36名)・7月25日(32名)・8月22日(32名)・9月5日(30名)・10月17日(29名)・11月7日(29名)・12月5日(30名) 計 8回 42名参加 延べ251名

(2) 古文書探訪会

①参加者28名(歴史館職員2名含む)

②見学場所 松本市牛伏寺・馬場家住宅・開智学校

③参加費 6000円

(3) 古文書演習

実施に至るまで

5月上旬：今年度整理文書の選定・愛好会担当幹事と協議

5月中旬：会員へ通知発送・愛好会役員会で班分け等実施準備

夏季 35名参加 延べ98名(3班)

5月18日・6月15日・7月20日・8月17日・9月21日 5回

冬季 32名参加 延べ326名(3班)

1月17日・18日・19日・24日・25日・26日・31・2月1日・2日・7日・

8日・9日・14日15日・16日・21日 計16回(22・23日は中止)

内容 仮目録採りと班ごとの学習会

演習文書

夏季 7-44 更級郡山布施村名主塩入家文書(寄贈)

4-42 伊那郡大草村高坂家文書(寄託)

5-64 本山宿関係史料(寄託)

冬季 伊那郡大草村横前家文書(寄贈)

(4) グループ学習会

・上記古文書演習の最中の金・土・日3日間のうちの半日(2時間)を使って、グループごとに自分たちが整理した文書の中から適当なものを選んで学習した。

(5) 総会

① 日 時 2月21日(金) 午後3時～3時30分

② 議 題 ・令和元年度古文書愛好会事業報告・同古文書愛好会会計報告

- ・令和元年度古文書愛好会会計監査報告
- ・令和2年度古文書愛好会事業計画案・同古文書愛好会予算案
- ③ 参加者 会員20人 事務局2人 計22人
(講演会は新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止した)。

14 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

- ① 総会の開催 3月予定を新型肺炎感染防止のため次年度へ延期
- ② 保険の加入 4回にわたり手続した。保険適用は無かった。
- ③ 募集 ホームページ、千曲市のちらし回覧、エントランスにちらし設置等
- ④ 名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計(延数)	実数
年度当初数(人)	4/1	45	26	12	83	56
年度末数(人)	3/31	52	29	15	96	63

*実際に解説を行っている会員は12名、他は研修中ほか。

- ⑤ 内覧会案内・招待券・館だより等の送付
- ⑥ 国宝土偶展への協力をいただいた。延べ303人。
- ⑦ 千曲市社会福祉協議会より、当館ボランティアの会が11月9日の社会福祉大会で表彰された。
- ⑧ 県長寿社会開発センターによる「地域づくり出会いひろば」1/28に参加し、PRを行った。
- ⑨ ボランティアルームの管理

(2) 解説ボランティア活動

- ① 団体への展示解説
 - ・一般団体を主として依頼した(8団体で解説延べ14回実施)。
- ② 一般客への展示解説 「日曜解説」
 - ・実施日 毎週日曜日および祝日(通年。ただし3/15以降は中止)
 - ・実施時間 午前10:30~12:30 午後1:30~3:30(12~2月は1:00~3:00)
 - ・解説人数 午前・午後ともに2名を原則
 - ・解説方法 展示室で声かけをしながら適宜活動。喜びの持てる活動となった。
 - ・実績 解説者延数214、利用者数1,418人(4/7~3/8)
 - ・日曜解説以外の解説 ボランティア会員の希望により土曜日・平日に実施(1日、解説者延数1、利用者数4)
- ③ イベント時における展示解説と監視

- 「歴史館でこどもの日」10人、「歴史館で夏休み」10人、「国宝土偶展」15人
④ 研修 日曜解説研修（研修者の都合に合わせて実施）、内覧会、自主研修ほか

(3) 体験ボランティア活動

- ① 歴史館でこどもの日 5月5日(日) 勾玉20人 縄文人4人 プラ板4人
- ② 歴史館で夏休み 8月4日(日) 勾玉20人 縄文人4人 プラ板6人
- ③ 国宝土偶展 10月26日(土)～11月10日 29人
- ④ クリスマスリース作り 11月23日(金) リース作り支援3人

(4) 作業ボランティア活動

- ① 木器処理作業 5人延べ65回
- ② 文献整理作業 3人延べ119回

水内郡古山村戸谷家文書・埴科郡森村中澤家文書・伊那郡石曾根村飯島家文書・佐久郡土屋家文書・安曇郡堀之内村中村家文書の目録取り等

15 博物館関係職員等研修会

新型コロナウイルス感染防止のため、急ぎょ中止した。

【計画】

長野県教育委員会、長野県博物館協議会共催

(1) 期日

令和2年2月27日(木)、28日(金)

(2) 参加対象者

公立・私立博物館等（博物館、美術館、歴史民俗資料館及び考古資料館等）職員
市町村教育委員会職員
教育事務所職員
県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）
その他受講希望者

(3) 内容

今年度研修テーマ：「博物館等の災害への備えと対応」

1日目 2月27日(木) 会場：長野県立歴史館講堂

開会行事

講演①「被災地からの文化財・歴史資料救出～博物館の役割～」

〈講師〉矢田 俊文 氏（新潟大学名誉教授）

講演②「地域歴史資料の救出・保全の現状と課題」

〈講師〉西村 慎太郎 氏（国文学研究資料館）

情報交換会

2日目 2月28日(金) 会場：長野県立歴史館

事例報告①「今年度長野県内の水害における文化財対応」

新津 尚治 氏（長野県教育委員会文化財生涯学習課）

事例報告②「水害時の未指定資料（文化財）の救済－長野市立博物館では－」

原田 和彦 氏（長野市立博物館）

研究協議および実務研修

- ・研究協議 テーマ「博物館等の災害対応」
- ・実務研修 テーマ「水損・汚損資料の応急処置」

16 職員派遣(出前講座)

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
4月16日	蓼科高校「蓼科学」	「ヒトの形をつくり・顔をつける」	38	寺内隆夫
4月18日	長野大学「信州学」	概説 考古資料からみた信州の旧石器時代から古墳時代	187	西山克己
4月23日	蓼科高校「蓼科学」	「中山道2ー絵師の目から中山道を見るー」	38	小野和英
4月25日	長野大学「信州学」	中世を中心とした信州学	208	村石正行
5月9日	千曲市立東小学校アプリコットタイム	児童との顔合わせ	23	加藤廣美
5月23日	薬師寺石張水路工 登録有形文化財登録10周年記念式典	災害伝承と歴史的砂防施設	120	笹本正治
5月25日	望月歴史民俗資料館講座	ヒトの形・顔を表現することの始まり	43	寺内隆夫
6月6日	千曲市立東小学校アプリコットタイム	勾玉を作ろう	23	加藤廣美/大森昭智
6月11日	シニア大学長野学部	広い世界と信州～信濃の歴史をたどる～	122	水澤教子
6月13日	ながのろじー(市立長野高校地歴選択授業)	旧石器時代の石器製作	24	近藤尚義
6月27日	千曲市立東小学校アプリコットタイム	大昔の道具を使ってみよう	23	加藤廣美/寺内隆夫
6月30日	永昌寺「寺来や塾」	公文書から読み解くー御真影拝戴ー	24	伊藤友久
7月11日	千曲市立東小学校アプリコットタイム	歴史館探検1	23	加藤廣美
7月13日	平出博物館土曜サロン	縄文時代の食糧事情	78	寺内隆夫
7月25日	近世文書読解講習会	信濃と伊能忠敬	15	小野和英
7月26日	近世文書読解講習会	信濃と中山道	12	小野和英
7月26日	須坂市教職員学年会研修	中世・近世の須坂市	21	村石正行
8月1日	信濃木崎夏期大学	転換する戦国時代ー女性・人身売買・職人ー	280	笹本正治
8月3日	諏訪市の縄文世界	個性が光る諏訪の縄文土器	41	寺内隆夫
8月24日	信州学出前講座in上田	弥生時代の終末から古墳時代の渡来文化	56	西山克己
8月24日	第29回信州安曇野能楽鑑賞会	能楽の講評	580	笹本正治
8月25日	黒耀サマーフェスin長和'19	閉会式での講評	600	笹本正治
9月5日	ながのろじー(市立長野高校地歴選択授業)	諏訪信仰と信濃	24	畔上不二男
9月7日	西高「梶の葉セミナー」	長野西校から発見された赤い土器	13	町田勝則
9月7日	更埴教育研究集会第3分科会講演会	埴代遺跡群出土木簡と木製祭祀具	23	水澤教子
9月7日	国宝土偶展事前講演会	縄文文化・土偶について学ぶ	21	寺内隆夫
9月11日	永昌寺「寺来や塾」	博物館が守ったマツリの道具	22	水澤教子
9月14日	西高「梶の葉セミナー」	「シナノ」から「科野」そして「信濃」へ	12	西山克己
9月17日	飯山小菅地区研修視察	飯山小菅地区における文化的景観について	80	笹本正治
9月20日	戸倉公民館「いきいき創造学級」	御柱と諏訪信仰	50	畔上不二男
9月20日	湯～ばれあ歴史講座	古代道路の構造と長野県内の遺構	24	白沢勝彦
9月21日	信州学講座in箕輪	信州の城と石垣/信州学 戦争と平和を考える	72	白沢勝彦/福島良彦

9月24日	長野県シニア大学佐久学部	戦国武将小笠原三代の歩み	220	村石正行
9月26日	ながのろじー(市立長野高校地歴選択授業)	伊能忠敬と長野市	7	小野和英
9月26日	千曲市立東小学校アプリコットタイム	歴史館探検2	23	加藤廣美
9月28日	軽井沢町歴史民俗資料館における文化講座	浅間山をとりまく縄文世界を紐解く	16	水澤教子
9月29日	佐久市 市民講座	佐久平の弥生時代～石器から金属器へ～	21	町田勝則
10月10日	永昌寺「寺来や塾」	善光寺平南部の縄文人の暮らし	18	杉木有紗
10月11日	湯～ばれあ歴史講座	学び続ける信州人	13	畔上不二男
10月31日	ながのろじー(市立長野高校地歴選択授業)	美しき明治の水絵	21	林 誠
10月31日	千曲市立東小学校アプリコットタイム	森將軍塚古墳に登ってみよう	23	加藤廣美
11月7日	千曲市立東小学校アプリコットタイム	ペーパークラフト(縄文土器)	23	加藤廣美
11月15日	第45回全史料協全国大会	地域資料の危機管理	100	村石正行
11月21日	稲荷山公民館 教養講座	信濃の国・中山道	33	小野和英
11月23日	長野県民俗の会総会	中世の諏訪信仰	45	村石正行
11月23日	信州学講座in諏訪	伊能忠敬と信州	45	小野和英
11月29日	湯～ばれあ歴史講座	美しき明治のみづゑ 水彩画家・丸山晚霞の魅力	22	林 誠
12月5日	殖生公民館 すこやか学級	「シナノ」から「科野」そして「信濃」へ	30	西山克己
12月13日	松代公民館海津大学学園「郷土史料」	弥生の大集落	60	町田勝則
12月20日	埋蔵文化財センター所内研修会	長野県出土の土偶について	24	寺内隆夫
12月22日	松本市文書館講演会	松本時代の小笠原秀政	60	村石正行
1月20日	塩崎郷土史	大塔合戦と小笠原氏	35	村石正行
1月25日	信州学講座in安曇野	諏訪信仰を広めたのは誰だ	70	村石正行
2月22日	高遠町歴史博物館第15回歴博講座	「地酒王国」信州の誕生	62	畔上不二男

IV 共催事業

月日	共催事業	共催団体	参加者数
6月16日	第1回考古学セミナー	長野県考古学会	82
12月1日	第2回考古学セミナー	長野県考古学会	77
12月8日	近世史セミナー	信濃史学会、近世史セミナー	120
6月～12月	館蔵文書を読む会（8回）	古文書愛好会	251
5月～2月	古文書演習（21回）	古文書愛好会	424

V 出版

1 長野県立歴史館たより

(1) 夏号 vol. 99 表紙 川中島合戦図 屏風 (当館蔵)

令和元年5月28日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「常設展示室から」、開館25周年記念収蔵品展 長野県立歴史館の名品、研究の窓「石器石材の研究から」、長野県立歴史館の公文書館機能、行事アルバム「長野県の考古学—時代を映す“匠”の技—ミニシンポジウム」・「歴史館でこどもの日」、6月～9月の行事予定

(2) 秋号 vol. 100 表紙 開館25周年 戦国小笠原三代展

- ・大坂夏の陣図屏風 (大阪城天守閣蔵)
- ・木造大日如来如来像 (松本市沢村区蔵)
- ・二枚胴具足 (廣澤寺蔵)
- ・摩利支天坐像 (飯田市開善寺蔵)
- ・三好長慶画像 (南宋禅寺蔵)

令和元年7月30日発行 A4判、12頁(オールカラー)

主な内容：開館25周年を迎え「歴史学習の拠点として」、「理想を高く掲げて」開館25周年秋季企画展「戦国小笠原三代」、開館25周年記念特別企画「土偶展」、考古資料を読む「縄文時代の磨石類について」、文献史料を読む「小笠原秀政の印判」、各種講座のご案内 信州学講座・考古学講座、古文書講座、おでかけ歴史館。9～12月の行事予定、行事アルバム「県立歴史館の信州学講

座」、「歴史館で夏休み」

(3) 冬号 vol. 101 表紙

開館25周年記念特別企画『土偶展』

中空土偶茅空 (函館市蔵)・合掌土偶 (八戸市蔵)・縄文のビーナス (茅野市蔵)・仮面の女神 (茅野市蔵)・縄文の女神 (山形県蔵)

令和元年9月19日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：開館25周年記念特別企画土偶展「中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神」、歴史資料をよむ「工夫された酒造りの道具の数々」、考古資料をよむ「松原遺跡出土の赤色漆塗り堅櫛 (その2：X線断層撮影による構造観察)、研究の窓「縄文土器胎土からの視点」、展示資料紹介「弥生時代の紡錘車—織りに想いをはせる—」、行事アルバム「考古学講座」・「歴史館で夏休み」・「古文書愛好会」、12～3月の行事予定

(4) 春号 vol. 102 表紙 飯田市中村 中平遺跡出土土製耳飾り (飯田市教育委員会蔵)

令和2年2月14日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「令和2年度の歴史館の統一テーマは食です」、企画展を終えて「『戦国小笠原三代』新たなる展開」、春季展「2020年『長野県の考古学』—いのちをつなぐ技と交流—」、考古資料を読む「木の文化の国に住むということ—遺跡から出土した木製品の保存処理と活用について—」、文献史料を読む「御真影奉護に斃れた校長—奉安殿建設の契機に—」、行事アルバム「いい育児の日」・「県立歴史館の信州学講座」・「近

世史セミナー」、3～6月の行事予定

2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第26号 令和2年3月31日発行、A4判、188頁、1,000円

<内容>

口絵／資料紹介

新収蔵史料 高井野藩主福島氏関係文書

村石 正行

◇研究報告

室町幕府奉公衆の「一味同心」

一文明一七年「もうひとつの一揆」と奉行人布施英基殺害事件をめぐる一 村石 正行

済南事件と長野県一新出史料の紹介と若干の論点の提示一 大串 潤児(信州大学人文学部)

遺跡で発見された地震跡一甚大な被害をもたらす自然災害一 西山 克己

刃器の研究(中)一「大形石器」の系譜と用途一 町田 勝則

丸山晚霞作品の署名について一明治30年代前半と考えられる水彩画を中心に一 林 誠

◇研究ノート

長野県内出土の「鹿」を描いた土器と埴輪

一原始・古代以来の人と鹿とのお付き合い一

西山 克己

石器製作時の加熱処理

近藤 尚義

◇資料紹介

時代に翻弄された芸術家一『蟹工船』装幀者の回顧録一

伊藤 友久

線刻のある石器について一更埴条里遺跡発見の刃器様石器一

町田 勝則

神津猛寄贈資料の紹介一縄文時代後期の土偶について

杉木 有紗

◇職員執筆抄・研究活動

3 その他

(1) 平成31・令和元年度催しもの案内(前期)(後期)

A4判(21.0×29.7cm)、三つ折カラー

(2) 『信州を学ぶ3 未来を創る編ー新たな時代にはばたく信州』令和元年5月30日発行、四六判、289頁、1400円

<内容>

はじめに(笹本正治)、第1章 信州の山宇山と生きる一自然と環境、山里の暮らしは語る(小野和英)、近くて遠い人と水(寺内隆夫)、河童のつぶやき(溝口俊一)、森は待っている(笹本正治)、伝えられない災害(林誠)、限りある地下資源(大竹憲昭)、第2章 信州の暮らしを支える一産業と交通、生きることは食べること(西山克己)、養蚕業の灯は消えない(山田直志)、ものづくりの進化は続く(村石正行)、青緑色のぬくもりを未来へ(近藤尚義)、道路の先に開ける視界(白沢勝彦)、鉄道で新たな夢を結ぶ(寺内隆夫)

第3章 信州の風土を伝えゆく一教育と文化、学び続ける信州人でありたい(畔上不二男)、相手と自分を知ることから(飯島公子)、祭りを受け継ぐ誇りと気概(福島良彦)、歴史的建物が文化を紡ぐ(伊藤友久)、遺跡が語る比類無き風土(町田勝則)、過去からの贈り物を伝える(水沢教子)、コラム 長寿県への道のり(加藤廣美)

VI 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	小冊子	遺跡報告書	小計
自館制作	2	3	4	4	0	13
購 入	96	249	0	0	0	345
寄 贈	698	602	263	73	543	2,179
令和元年度計	796	854	267	77	543	2,537
累 計	31,670	35,193	6,873	10,661	26,062	110,459

(2) 文庫等図書資料数 (単位：冊)

長野県史刊行会	3,080
米山・関川・塚田・ 宝月文庫 他	15,349
長野県考古学会	5,685
累 計	24,114

(3) 公開用雑誌製本

雑誌製本 10件

(4) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 0本

寄贈CD-ROM 0本

2 情報提供

(1) レファレンス

72件

(2) ホームページアクセス数

107,879件

VII 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代、中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回（5月22日）

○歴史研究の方法 - 諏訪社と音の世界を例にして -

笹本 正治

第2回（7月17日）

○令和元年度調査研究計画（報告と討議）

第3回（8月28日）

○江戸時代中期の在郷町の動揺と権利意識

小野 和英

第4回（9月25日）

○弥生時代終末から古墳時代の渡来文化

西山 克己

第5回（11月27日）

○信・越広域大名 堀氏の誕生

村石 正行

○時代に翻弄された芸術家-「蟹工船」を描いた長野県人-

伊藤 友久

第6回（12月25日）

○狩猟採集の社会から農耕社会へ-祭祀的といわれる道具の推移から-

町田 勝則

第7回（1月22日）

○満州開拓を支えた教育力-なぜ教員は子ども達を満州へ送ったか-

大森 昭智

○人類の宝、文化財を未来へ

水澤 教子

第8回（2月19日）

○弥生中期層から検出された赤漆塗り竪櫛の内部構造について

白沢 勝彦

第9回（3月18日）

○伊那谷から世界へ～画家・書家・コレクター 中村不折の概要～

林 誠

○中部高地の土偶文化と国宝土偶

寺内 隆夫

3 時代別研究会

(1) 令和元年度 時代別所属者名

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原始		寺内 隆夫 町田 勝則	近藤 尚義 杉木 有紗	
古代 中世		水澤 教子 宮坂 到 飯島 公子	西山 克己	村石 正行
近世		畔上不二男 加藤 廣美	白沢 勝彦	小野 和英
近現代	福島 良彦	林 誠 大森 昭智		伊藤 友久

(2) 時代別研究会の主な業務

- ① 史資料及び図書資料の調査研究
- ② 常設展及び企画展の展示資料についての調査研究

Ⅷ 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータ化する必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

① 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史的変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたって収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。

- (d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。
- (e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。
- (f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

2 展示資料

(1) 収集資料数 (件)

区分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
令和元年	3	0	5	0	8

(2) 収集資料の内訳

- ア 札沢遺跡出土動物裝飾付鈎手土器複製品 1点 (製作)
- イ 柳沢遺跡出土銅鐸複製品 2点 (製作)

(3) 寄贈

品名	員数	寄贈者	時代	備考
木造校舎写真資料	1式	石川 孝	近現代	写真
丸田恒雄 満州更級郷絵画資料	2	丸田善徳	近現代	H26年寄贈資料追加分
伴月楼記念館所蔵資料	1式	関 章	近世	古銃ほか
伊藤友久収集資料	1式	伊藤友久	近現代	蚕玉様押絵ほか

(4) 寄託

なし

(5) 修復

- ・ 札沢遺跡出土動物裝飾付鈎手土器

3 考古資料

(1) 収集

平成 30 年度に長野県埋蔵文化財センターから移管された移管残し資料の内、遺物類 (報告書掲載分: 村東山手遺跡 2 箱)、(報告書非掲載分: その他の遺跡 26 箱) を種分けし (新たな箱は 18 箱) 第一収蔵庫ほかに収蔵した。

(2) 保存処理・修復・科学分析

・保存処理・科学分析

館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。

当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。

長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委

員会へ必要な技術協力を行なった。

・その他

市町村埋蔵文化財担当者および博物館施設職員等を対象とした、考古資料保存処理講習会「土器・土製品と石造物の保存修復と保管環境」を12月18日に開催し、39名の参加があった。

項目	内容		件名・資料名	処理点数	状況	所管
木器	大型木器等 PEG処理槽一括 処理	PEG法※1	第33シリーズ(B槽) (社宮司遺跡他)	319 200	継続 完了	当館
			第34シリーズ(D槽) (東條遺跡)	211	完了	当館
			第35シリーズ(D槽) (東條遺跡)	500	完了	当館
	小型木器	FD法※2 (FD処理待 ち含む)	屋代脆弱(D槽)	132	完了	当館
	継続合計			319		
	完了合計			1,043		
	PEG処理後写真 記録整理		第33シリーズ(B槽200点) 第34シリーズ(D槽211点) 第35シリーズ(D槽500点) FD処理(D槽132点)	1,043	完了	当館
			第32・34・35シリーズ (記録整理)	993	完了	当館
金属器	保存処理・修復		館蔵金属製品(峯謡坂遺跡)	35	完了	当館
			小島・柳原遺跡, 北裏遺跡群 西東山遺跡, 奥日影遺跡 小山寺窪遺跡, 馬越下遺跡 地家遺跡, 浅川扇状地遺跡群	107	完了	長野県埋蔵文化財センター
科学分析	赤外線観察		箕輪町郷土博物館収蔵「高札」	2	完了	箕輪町教育委員会
			松川村細野神社「奉納絵馬」	3	完了	松川村教育委員会
			高森町 山吹白髭神社「俳句奉額」 吉田神社 「祠堂再建篤志寄付芳名木札」	2	完了	高森町歴史民俗資料館
	X線透過撮影観察		神坂峠遺跡出土金属器	21	完了	阿智村教育委員会
			小島・柳原遺跡, 中部横断自動車 道関連遺跡, 浅川扇状地遺跡群	182	完了	長野県埋蔵文化財センター
			高森町千早原遺跡出土土製品	1	完了	高森町教育委員会
			新町泉水遺跡出土 県宝「仮面付土偶」	1	完了	辰野町教育委員会
	合計			212		
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等問合せへの回答				26件		17区市町村

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの(最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬)。

※2 真空凍結乾燥法で保存処理したもの。

4 文献史料

(1) 行政文書

① 収集・整理

- ア 行政文書 50 冊
- イ 行政資料 145 冊（長野県の行政刊行物、議会資料等）
- ウ 県報 119 件（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月 製本）

② 公開・非公開判定

- ア 行政文書の公開・非公開判定（大正期の見直し判定を含む） 578 冊

③ その他

- ア 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

(2) 近現代資料収集・整理・保存

① 収集・整理

G0-2 原伊市収集文書、G0-3 後藤新一収集文書、G1 県評センター史料 ほか 17 件の文書群を整理中。目録の整備が済み、次第公開する。

② 保存

- ア 長野県史写真フィルム（35mm）の洗浄・複製製作（業者委託）
継続事業 小県郡・諏訪郡 486 本

(3) 古文書

① 収集（* 概数含む） 19,653 点

文 書 名	内 容
寄贈	
小松益美関係史料 1527 点	戦時期の国民貯蓄関係資料等
佐久郡八幡宿依田家文書 5000 点*	八幡宿問屋職および硝煙関係史料など
佐久郡大井法華堂文書 1000 点*	中世修験関係文書 40 点ほか
佐久郡立神大宮家文書 12 点	中世両羽神社神官家文書
伊那郡大草村横前家文書 10000 点*	近世名主関係文書 近代養蚕関係文書
諏訪郡上原村柿沢家文書 200 点	上原村名主家関係地方文書 俳句関係多し
河村袈裟昭収集文書 30 点*	小松原村・今井村裁許絵図、甲陽軍鑑
石川欣一収集史料 1000 点*	石川欣一が収集した近世・近現代文書
約 18,769 点	
寄託	
なし	
購入	

小県郡常田村富岡家文書	300点	近代養蚕関係文書
筑摩郡洞村烏狩覚帳	8点	松本藩戸田家の烏追行事関係史料
筑摩郡和田町村・下和田村・殿村上原家 文書	300点	近世後期から明治・大正期の地方文書
埴科郡西條村役場文書	168点	大正期の徴兵・徴馬関係史料
松代藩士落合家文書	48点	真田信之朱印状 落合瀬左衛門関係文書
松代藩郡奉行成沢家文書（継続購入）	32点	松代藩士の日記・書状
上田藩松平家分限帳	2点	幕末の分限帳
水野隼人正家中分限帳	1点	松本藩関係
（延宝三年分限帳扣 水野家松本七万 石領地）	1点	松本藩関係
（水野氏分限録 享保十年改）	1点	松本藩関係
公文編冊全（昭和三年済南事件関係書 類）	1点	済南事件関係の行政簿冊全1
昭和二十二年四月執行選挙関係	2点	戦後総選挙関係簿冊 選挙の心得（改正選挙 法に就て）
真田信之吉書	1点	正月吉書始の詠歌
福島忠勝書状	1点	高井野藩主福島忠勝の書状（元和5年）
會津藩松澤家文書（保科正光書状・保科 正光黒印状）	2点	慶長5年の関ヶ原合戦時の保科正光関係文書
小笠原貞宗画像	2点	彩色画
織田信長・信忠画像	1点	掛幅
豊臣秀吉画像	1点	掛幅 太閤山常泉寺朱印 裏書大光山本圀 寺日詔
武田信玄画像	1点	掛幅
日本山海名産図会	5点	冊子
小諸藩牧野家分限帳	6点	近世後期の分限帳
	計884点	

② 整理 (* = 継続整理中)

文 書 名	点数 (点)
村方諸文書 (追加分)	610
上松徹氏収集資料	13
宮坂武男城郭研究資料	14,339
小松益美関係史料	1,527
東山道軍関係資料	71
県立歴史館収集文書 (雑)	6
小県郡常田村富岡家文書	110
芦田宿本陣土屋家文書 (E番台)	1,843
佐久郡八幡宿依田家文書	2,524*
大井法華堂文書	*
佐久郡立神大宮家文書	12
佐久郡地方文書 (上条信彦氏収集文書)	8*
諏訪郡上原村柿沢家文書	200
伊那郡石曾根村飯島家資料	2,094
伊那郡大草村塩沢家文書 (上条信彦氏収集文書)	155
筑摩郡麻績村戸町役場文書 (上条信彦氏収集文書)	4,566
筑摩郡東川手村堀内家文書 (上条信彦氏収集文書)	49
安曇郡筑摩郡文書 (上条信彦氏収集文書)	10
筑摩郡洞村鳥狩覚帳	8
埴科郡森村中澤家文書	4,902
松代藩郡奉行成沢家文書 追加分	49
埴科郡森村近藤家文書	1,833
埴科郡鼠宿村西澤家文書 (上条信彦氏収集文書)	104
埴科郡西條村役場文書	168
松代藩士落合家文書	48
高井郡赤岩村湯本家文書	141
水内郡古山村戸谷家文書	178*
水内郡地方文書 (上条信彦氏収集文書)	10
水内郡妻科村水崎家文書 (上条信彦氏収集文書)	41
合計 29タイトル	35,619

③ 公開 (WEBも含めて)

番号 (地区・通番)	文 書 名	点数 (点)
0 14	村方諸文書 (追加分)	610
0 17	上松徹氏収集資料	13
0 22	宮坂武男城郭研究資料	20,849
0 24	小松益美関係史料	1,527
0 25	東山道軍関係資料	71
0 99-3	県立歴史館収集文書 (雑)	6
1 18	小県郡常田村富岡家文書	110
2 11	芦田宿本陣土屋家文書 (E番台)	1,843
2 34	佐久郡立神大宮家文書	12
2 35	佐久郡地方文書	8
4 37	伊那郡石曾根村飯島家資料	6,435
4 41	伊那郡大草村塩沢家文書 (上條信彦氏収集文書)	155
5 58	安曇郡筑摩郡文書 (上条信彦氏収集文書)	10
5 66	筑摩郡麻績村戸町役場文書 (上条信彦氏収集文書)	4,566
5 67	筑摩郡東川手村堀内家文書 (上条信彦氏収集文書)	49
5 68	筑摩郡洞村烏狩覚帳	8
7 43	埴科郡森村中澤家文書	6,009
7 47	松代藩郡奉行成沢家文書 追加分	49
7 48	埴科郡森村近藤家文書	1,833
7 51	埴科郡鼠宿村西澤家文書 (上條信彦氏収集文書)	104
7 52	埴科郡西條村役場文書	168
7 53	松代藩士落合家文書	48
8 20	高井郡赤岩村湯本家文書	141
9 40	水内郡地方文書 (上條信彦氏収集文書)	10
9 41	水内郡妻科村水崎家文書 (上條信彦氏収集文書)	41
25タイトル	合計	44,675

④ 収蔵文書目録 19 の刊行

文書番号	収録文書名
7-37・43・47・ 48・52・53	矢代宿脇本陣柿崎家文書・埴科郡森村中澤家文書・松代藩郡奉行成沢家文書・埴科郡森村近藤家文書・埴科郡西條村役場文書・松代藩士落合家文書

⑤ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	佐久郡上平尾村森泉家文書	2,850カット（継続）
紙焼・製本	佐久郡上平尾村森泉家文書	2,850カット（継続）

⑥ 資料の修復（業者委託）

「平某下文」

(4) その他

- ① くん蒸釜によるくん蒸 12回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など

Ⅹ 広報

1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内へのチラシ回覧、千曲市内および長野市内の学校や諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。また、各報道機関への案内・当館及び県博協、日博協などのホームページの情報更新も適宜行っている。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	読売新聞 信濃毎日新聞 長野市民新聞 信濃毎日新聞 博物館研究 5月号 朝日新聞 県教委メールマガジン ハートピア すまいる	2019巡回展「長野県の考古学」-時代を映す“匠”の技 長野県の考古学 時代を映す「匠」の技 ミニシンポジウム 県立歴史館 ミニシンポジウム 歴史館でこどもの日 「長野県の考古学」-時代を映す匠の技 2019巡回展「長野県の考古学」-時代を映す“匠”の技 5月の予定 歴史館でこどもの日	新聞 新聞 タブロイド紙 新聞 日博協 冊子 新聞 メールマガジン 中島新聞店チラシ	美術館・博物館等 週間ガイド イベント 大型連休ガイド 展覧会(歴史)一覧 美術館・博物館等 No761 有料広告
5月	信濃毎日新聞 長野市民新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 長野市民新聞 博物館研究 6月号 博物館研究 6月号	郷土誌『文化財信濃』「地域の縄文文化遺産を活かす」 県立歴史館が信州学講座 考古学講座「時代を映す匠」 県立歴史館の信州学講座 18日から「信州学」25日から「考古学」県立歴史館がシリーズ講座 考古学講座「時代を映す匠」 県立歴史館 考古学講座 長野県の考古学-時代を映す匠の技 考古学セミナー	新聞 タブロイド紙 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 日博協 冊子 日博協 冊子	本の散歩みち 週間ガイド 週間ガイド 週間ガイド おしらせ 講座 展覧会(歴史)一覧 普及活動一覧
6月	読売新聞 八十二文化財団広報紙 信濃毎日新聞 夕刊 信濃毎日新聞 長野市民新聞 週刊長野 博物館研究 7月号 博物館研究 7月号 県教委メールマガジン 朝日新聞 週刊長野 なかのけん 夏号	長野県の考古学-時代を映す“匠”の技 開館25周年記念 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」 「信州を学ぶ」シリーズ全3巻 好評発売中 考古学セミナー 考古学セミナー 信州の未来を展望 歴史館が第3回配本 長野県の考古学-時代を映す匠の技 中信会場 縄文人の材料選択と土器づくり (考古学講座) 7月の予定 長野県立歴史館の名品 長野県立歴史館の名品 県立歴史館に行こう	新聞 広報紙 新聞 新聞 タブロイド紙 タブロイド紙 日博協 冊子 日博協 冊子 メールマガジン 新聞 タブロイド紙 広報紙	美術館・博物館等 美術館・博物館等 有料広告 週間ガイド おしらせ 新刊紹介 展覧会(歴史)一覧 展覧会(歴史)一覧 イノベーション 有料広告 お出かけ情報
7月	中日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 読売新聞 高校野球長野大会パンフレット 中日新聞	長野県立歴史館の名品 開館25周年記念 収蔵品展長野県立歴史館の名品 開館25周年記念収蔵品展「長野県立歴史館の名品」 開館25周年記念 収蔵品展 長野県立歴史館の名品 開館25周年記念 収蔵品展 長野県立歴史館の名品 開館25周年記念 収蔵品展 長野県立歴史館の名品	新聞 新聞 新聞 新聞 冊子内チラシ 新聞	有料広告 週間ガイド 情報ばれっと 美術館・博物館等 有料広告 有料広告

	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 毎日新聞 ながの情報NEXT 11月号 博物館研究 11月号 博物館研究 11月号 博物館研究 11月号 博物館研究 11月号 博物館研究 11月号	「県立歴史館巡回展「長野県の考古学 時代を映す匠の技」(飯田) 特別企画 土偶展 開館25周年記念 特別企画 土偶展 土偶展 土偶展「国宝土偶～縄文文化の多様な個性～」 土偶展 国宝土偶～縄文文化の多様な個性 「国宝土偶を掘る」(講演会) 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神 長野県内の出土土偶 (講座) 縄文のピーナス (写真、紹介、土偶展情報)	新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子	週間ガイド 週間ガイド 有料広告(カラー) インフォメーションギャラ 情報ざれっと Event Navi 展覧会(歴史)一覧 展覧会(歴史)一覧 展覧会(歴史)一覧 展覧会(歴史)一覧 巻頭写真
11月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 ながのけん 秋号 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 博物館研究 12月号 博物館研究 12月号 博物館研究 12月号 博物館研究 12月号	特別企画土偶展講演会 いい育児の日イベント 長野県立歴史館開館25周年記念特別展 土偶展 県立歴史館 信州学出前講座(諏訪) 「長野県内出土の土偶をめぐって」 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神 「土器と土器胎土」(信州学講座) 信州学講座「土器と土器胎土」 考古学講座「石斧の製作」	新聞 新聞 広報紙 新聞 新聞 日博協 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子	週間ガイド 週間ガイド 週間ガイド 週間ガイド 展覧会(歴史)一覧 展覧会(歴史)一覧 普及活動一覧 普及活動一覧
12月	ケーブルネット千曲 12月 信濃毎日新聞 八十二文化財団広報紙 読売新聞 クラインガルテンだより 中日新聞 博物館研究 1月号	特別企画展 後期「中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～」 考古学講座 特別企画展 後期「中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～」 特別企画 土偶展 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～ 特別企画 土偶展 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～ 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～ 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神	広報紙 新聞 広報紙 新聞 冊子 新聞 日博協 冊子	地域情報 週間ガイド 美術館・博物館 ぐ 美術館・博物館 ぐ イベント案内 おでかけガイド 展覧会(歴史)一覧
1月	ケーブルネット千曲 1月 市民広報誌「科野」創刊準備号 信濃毎日新聞 博物館研究 2月号 博物館研究 2月号 博物館研究 2月号	「中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～」 「土偶展 中部高地の土偶」開催中 県立歴史館の信州学出前講座(豊科) 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神 信州学講座 受け継いでゆく長野五輪の遺産 信州学講座 ヨーロッパを目指した若き才能	広報紙 千曲地域広報紙 新聞 日博協 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子	地域情報 地域イベント紹介 週間ガイド 展覧会(歴史)一覧 普及活動一覧 普及活動一覧
2月	市報 千曲 2月号 信濃毎日新聞 ちくま未来新聞 創刊号 八十二文化財団広報紙 信濃毎日新聞 朝日新聞 博物館研究 3月号 博物館研究 3月号 博物館研究 3月号 県教委メールマガジン	県立歴史館の信州学講座 信州学講座「受け継いでゆく長野五輪の遺産」 「土偶展 中部高地の土偶」開催中 春季展 2020年「長野県の考古学」-いのちをつなぐ技と交流- 信州学講座「ヨーロッパを目指した若き才能 炭原耐衛・丸山峻俊・中村不折」 新型コロナウイルス拡大予防のため 信州学講座(22, 3/7)が中止 長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流 信州学講座 受け継いでゆく長野五輪の遺産 信州学講座 地域の縄文文化遺産を活かす 3月の予定	広報紙 新聞 地域情報紙 広報紙 新聞 新聞 日博協 冊子 日博協 冊子 日博協 冊子 メールマガジン	お知らせ 週間ガイド イベントガイド 美術館・博物館 ぐ 週間ガイド インフォメーション 展覧会(歴史)一覧 普及活動一覧 普及活動一覧

3月	市報 千曲 3月号 ケーブルネット千曲 3月 ケーブルネット千曲 3月 ちくま未来新聞 創刊号 朝日新聞 読売新聞	立歴史館企画展と春休み親子映画会 巡回展「長野県の考古学」、春休み親子映画会 第5回信州学講座「受け継いでいく長野五輪の遺産」 春季展2020年「長野県の考古学」～いのちをつなぐ技と交流～ 長野県の考古学～いのちをつなぐ技と交流～ 春季展2020年「長野県の考古学」～いのちをつなぐ技と交流～	広報紙 広報紙 広報紙 広報紙 新聞 新聞	催し物 地域情報 講演会 インフォメーションギャラリー 注目の展覧会
----	--	---	--------------------------------------	--

2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。テレビ・ラジオ局によるニュース報道については含まれていない。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 屋代有線放送 屋代有線放送 屋代有線放送 屋代有線放送 信濃毎日新聞	近世後期 飯島の古文書 江戸時代の万葉集注釈書展示 「令和」 出典で 今年度の講座のご案内・古文書講座募集 縄文時代草創期の隆起線土器 調理法の幅や食材選択拡大 巡回展「長野県の考古学 2019」 今年度の講座のご案内・古文書講座募集 「歴史館で子どもの日」 イベント紹介 巡回展「長野県の考古学 2019」 篠ノ井遺跡群から出土の瓦塔 地域に根ざした信仰 物語る	コラム 記事 有線放送 コラム 有線放送 有線放送 有線放送 有線放送 コラム	古文書講座関連 常設展関連 古文書講座関連 巡回展関連 巡回展関連 巡回展関連 巡回展関連 巡回展関連 常設展示関連
5月	屋代有線放送 信毎“こども新聞” 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞	「歴史館で子どもの日」 イベント紹介 万葉集略解 展示 信州学講座のご案内 佐賀に残る朝鮮出兵の拠点 城の建設に信州人も動員 古文書読解 貴重な担い手 県立歴史館の愛好会 史料整理で成果 先遣かっこい「トトロ石器」 狩猟に関わる祭祀具か 信玄朱印状 ついに発見 諏訪大社の寺院宛て 7月公開へ 信玄 諏訪大社に朱印状 県立歴史館、7月展示へ 信玄 諏訪大社上社の関連寺院宛て文書入手 小川「薬師沢石張水路工」 未来へ 女神の顔を付けた土器 食と子孫繁栄 切なる願い	有線放送 記事 有線放送 コラム 記事 コラム 記事 記事 記事 記事 記事 コラム	5/1～4 5/5, 14 信州学講座関連 古文書愛好会関連 巡回展関連 所藏品展関連 収藏品展関連 収藏品展関連 巡回展関連
6月	長野市民新聞 長野市民新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 長野市民新聞 市民タイムス 屋代有線放送	信玄の朱印状公開へ 県立歴史館 貴重な資料 来月から 県宝の木製仏塔テーマに講演 石器から読み解く縄文時代の中期 狩猟しつつ生業が多様化？ 伊那谷の豪族が築いたと伝わる三沢城 長野で弥生期の炭化米出土 米食の歴史示す重要資料 威厳ある木彫りの道祖神 安曇野の石毛さん寄贈へ 不折の折傘と子規の俳句 津波の惨状を克明に 巡回展「長野県の考古学 2019」 篠ノ井で教養講座 道祖神の木彫を寄贈 石毛良平さん県立歴史館に 開館25周年企画展等のご案内	記事 記事 コラム 記事 コラム 記事 記事 記事 有線放送 記事 記事 有線放送	収藏品展関連 信州学講座関連 日本全国信州みへつけた 歴史館刊行書関連 歴史館刊行書関連

	信濃毎日新聞 中日新聞	第8代長野県知事・高崎親章 西南戦争勃発の当事者 信濃木崎夏期大学 最先端研究涼しく説く	コラム 記事	収蔵資料関連
7月	信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 屋代有線放送 長野市民新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日旅行 朝日新聞(全国夕刊) 信濃毎日新聞 長野市民新聞 信濃毎日新聞	相模番付を模倣した見立番付 名山・高山などさまざま 開館25周年企画展等のご案内 県立歴史館 厳選25点 きょうから公開 開館25周年「名品展」6日から県立歴史館 重要な資料25件紹介 院政期「田舎に残った皇室文書」小川村周辺 荘園管理めぐる判決文 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」の見どころ解説① 開館25周年の県立歴史館 来年2月まで企画展 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」の見どころ解説① 屋代遺跡群の東北系縄文土器 到来の具体像知る手掛かりに 県立歴史館「信州を学ぶ」完結編出版 気になる縄文 山梨・長野 国宝重文土偶集合で驚沢な対面 鎮座するのは何者か「動物装飾付釣手土器」 「天下の糸平」ゆかりの雑道具「江戸のぜいたく屋」全盛期の一品 人気集め渋滞の心配 県立歴史館で今秋「国宝土偶展」 「信濃国埴科郡西條村大工製糸場之図」明治初期の製糸作業克明に	コラム 有線放送 記事 記事 コラム 有線放送 記事 有線放送 コラム 記事 旅行冊子 記事 コラム 記事 コラム	常設展関係 収蔵品展関連 有料広告 収蔵品展関連 考古学講座関連 歴史館刊行書関連 土偶展関連 収蔵品展関連 収蔵品展関連 収蔵品展関連
8月	屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 屋代有線放送 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	「歴史館で夏休み」イベント紹介 「縄文人」に変身 勾玉作りも 平出遺跡の縄文中期土偶 破片同士の接合16例珍しく 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」の見どころ解説② 坂城町生まれ児玉勝子さんの日記 終戦の記述 真に国思う女性像 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」の見どころ解説② 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」の見どころ解説② シナノで出土 弥生～古墳時代の渡来品 朝霧からの交流路 存在か 源平合戦図屏風 平敦盛と熊谷直実の名場面	有線放送 記事 コラム 有線放送 コラム 有線放送 有線放送 コラム コラム	8/2～4 歴史館で夏休み関連 土偶展関連 常設展関連 信州学出前講座(上田) 常設展関連
9月	トランヴェール9月号 FMぜんこうじ FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 SBC信越放送 屋代有線放送 屋代有線放送 週刊長野 信濃毎日新聞 毎日新聞 市民タイムス(松本) 信濃毎日新聞 長野市民新聞 千曲版	縄文から続く折りの地、諏訪 戦国小笠原三代一長時・貞慶・秀政一 戦国小笠原三代一長時・貞慶・秀政一 武田信玄の子 仁科五郎 「盛信」と「信盛」どっち? 小笠原氏信濃復帰内幕は 武将三代の企画展 穂高神社の御船祭り しのばれる小笠原家の遺徳 ずくだせテレビ「有線放送電話」の話題 秋季企画展「戦国小笠原三代」見どころ解説① 秋季企画展「戦国小笠原三代」見どころ解説① 小笠原氏の足跡 戦国三代にスポット 主権者教育進めるために 足元の歴史学を深く思考を 黒曜石という吸引力 旧石器時代研究70年 雌伏30年・悲願成就 「天下人」三好長慶に注目 ルーツは小笠原氏と自称 小笠原三代の足跡 県立歴史館で企画展	JR東日本冊子 ジゴボットCM ラジオ放送 コラム 記事 コラム テレビ放送 有線放送 有線放送 記事 コラム 記事 リレーコラム コラム 記事	土偶展関連 9/2～13 小笠原展関連 小笠原展関連 小笠原展関連 常設展関連 小笠原展関連 信州学出前講座(箕輪) 常設展関連 小笠原展関連 小笠原展関連

10月	<p>信濃毎日新聞 屋代有線放送 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 FMぜんこうじ FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 FMながの 屋代有線放送 屋代有線放送 山梨日日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 長野市民新聞 信濃毎日新聞 東京FMラジオ</p>	<p>家康の威光と小笠原氏の悲劇 深志を奪還「松本」に改名 秋季企画展「戦国小笠原三代」見どころ解説② 秋季企画展「戦国小笠原三代」見どころ解説② 家康に気に入られた孫婿 大坂夏の陣で散った秀政 迫る台風 信州緊迫 12日の講演会取りやめ 文化や歴史・掘り下げてみると 信州の温泉 さまざまな価値 県内の出土品飯田市美術 県立歴史館巡回展 松本市時計博物館「信濃守護・小笠原氏」企画展 土偶展「国宝土偶」「中部高地の土偶」 土偶展「国宝土偶」「中部高地の土偶」 土偶の傑作 縄文のビーナス 造形技術の粋を集め製作 ラジモ!「土偶展紹介」 土偶展「国宝土偶」見どころ解説① 土偶展「国宝土偶」見どころ解説① 国宝土偶5点一堂に 長野県立歴史館あすから展示 国宝の土偶5点勢ぞろい 千曲の県立歴史館 きょうから企画展 国宝の土偶5体一堂に 26日から 県立歴史館展示 国宝縄文土偶一堂に 仮面の女神など5点 県立歴史館25周年で 縄文のビーナス・仮面の女神 時代や文化の違い映す造形物 長野県紹介CM 土偶展「国宝土偶」</p>	<p>コラム 有線放送 有線放送 コラム 記事 コラム 記事 記事 ラジオCM ラジオ放送 コラム ラジオ 有線放送 有線放送 記事 記事 記事 記事 記事 コラム テレビ放送</p>	<p>小笠原展関連 小笠原展関連 信州学講座関連 巡回展関連 小笠原展関連 10/21~30 土偶展関連 土偶展関連 土偶展関連 土偶展関連 土偶展関連 土偶展関連 土偶展関連</p>
11月	<p>屋代有線放送 信毎“こども新聞” 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 なかのけん 秋号 信濃毎日新聞 NBS長野放送 山梨日日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞</p>	<p>土偶展「国宝土偶」見どころ解説② 国宝土偶勢ぞろい! 歴史館で公開 千曲・更級小6年生が紹介 「土偶展」図録紹介 土偶展「国宝土偶」見どころ解説② 北国の国宝土偶「縄文の女神」繁栄願いより大きく強く 伊能忠敬が出した先触れ 信州を4度訪れた測量隊 長野県立歴史館開館25周年記念 特別企画 土偶展 土偶縄文中期ピーク 多様な姿 おおらかな信仰 フォーカス信州 「驚きの縄文王国・信州不思議な土偶の世界」 調査、展示 県境越え連携 考古博物館と長野・歴史館 信州の黒曜石 北海道にも流通 豊富な資源で文化繁栄 地名に水害の歴史 台風19号被災地</p>	<p>有線放送 記事 記事 記事 コラム コラム 記事 コラム テレビ放送 記事 コラム 記事</p>	<p>土偶展関連 本の散歩みち 土偶展関連 信州学出前講座(諏訪) 土偶展関連 土偶展関連 考古学セミナー関連 取材協力</p>
12月	<p>NBS長野放送 屋代有線放送 信濃毎日新聞 屋代有線放送 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞</p>	<p>フォーカス信州 「驚きの縄文王国・信州不思議な土偶の世界」 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説① 原料や表現に土器との共通点 土偶の作り手の輪郭 鮮明に 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説① 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説① 縄文時代前期 磨製石斧の発達 製作遺跡出現 広域に流通網 江戸末期高山村で興った藤沢焼 人々救うため若者が民営操業 2019回顧1年 歴史 開館25周年記念企画展 2019回顧1年 歴史 新発見の史料 足利尊氏の自筆文書</p>	<p>テレビ放送 有線放送 コラム 有線放送 有線放送 コラム コラム 記事 記事</p>	<p>土偶展関連 信州学講座関連 考古学講座関連</p>

1月	記事 記事 随想 有線放送 有線放送 コラム 記事 記事 コラム 執筆 執筆 有線放送 記事 記事 コラム 記事 有線放送 有線放送 有線放送 コラム ラジオ放送 テレビ放送	済南事件と県 結ぶ記録 中国での日本軍衝突公文書発見 中部高地の土偶個性豊かな210点 日常的な防災意識と地名 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説① 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説② 縄文人 仮面による「変身」 異界の精霊や死者と交流 白髭神社の俳額を県立歴史館に調査依頼 土偶展イベント 着ぐるみと記念撮影を紹介 土偶の製作方法と破損理由 「仕舞い方」と密接に関係か 「戌の満水」を記録した絵図 災害を伝える測量図 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説② 大きい+顔なし=過渡期の土偶 長野で展示 土偶の「埋納」状況さまざま 歴史館でシンポ 研究者が報告 京都にあった諏訪社の神主 京都陳方氏 諏訪信仰を中央で広める 公文書管理ルール明文化 22年施行目指し 県が条例案提出へ 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説① 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説② 土偶展「中部高地の土偶」見どころ解説② 丸田恒雄氏が描いた満州更級郷 悲劇の前段 開拓団の夢 土偶展「中部高地の土偶」の紹介 土偶展「中部高地の土偶」の紹介	記事 記事 随想 有線放送 有線放送 コラム 記事 記事 コラム 執筆 執筆 有線放送 記事 記事 コラム 記事 有線放送 有線放送 有線放送 コラム ラジオ放送 テレビ放送	購入史料紹介 土偶展関連 新春号 土偶展関連 高原調査 土偶シンポジウム関連 土偶展関連 信州学出前講座(安曇野) 常設展関連
2月	abn長野朝日放送 国立国会図書館月報 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	いいね! 信州のスゴデカラ「いいこしえの信州を現在に 県立歴史館」 平成30年度夏季展図録「君は河童を見たか!」の紹介 長野冬季五輪の遺産 祭典超えて「夢づくり」に 常設展示の紹介 700年ほど前には現金流通か 1500キロの銭 信州から鹿児島に 被災資料救出県内ネット 台風19号災害受け 信大などの有志が設立 信州人画家 苦心し満吹 逆境に屈しない先駆者 県関係催し中止続く 歴史館2月3月講座、イベント中止 佐久「大井法華堂」古文書 県立歴史館へ 知事感謝状 佐久間象山製造とされる短銃 幕末期 技術革新に挑む	テレビ放送 冊子 コラム 有線放送 コラム 記事 コラム 記事 記事 コラム	706号「本屋にない本」欄 信州学講座関連 常設展関連 常設展関連
3月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	古文書の撮影方法を学ぶ 県史料協 千曲で講習会 足元の縄文文化に目を向ける 生きる技 未来への知恵に 環境に適応した堅果類の利用 命つなく縄文の知恵と技 国宝の金印 県内初公開へ 県立歴史館秋企画展 常設展示の紹介 縄文人の命をつなく技 食や道具の変遷を紹介 18日から春季展 福島正則・忠勝と高井野藩 「武辺」のイメージ 善政も 「蟹工船」表紙の原画製作 須山計一 海運都市の光と影を表現 縄文〜弥生 食料確保の工夫 県立歴史館「長野県の考古学」展	記事 コラム コラム 記事 有線放送 記事 コラム コラム 記事	春季展2020 関連 紀要26号関連 紀要26号関連

一 資料

I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)
貸出	5	12	6
掲載	28	23	55
複製(資料・写真)	6	0	5

全件数
23件
106件
11件

(2020年4月1日現在)

II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右=1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレ ンス件数	HP アク セス数	資料 受入数	図書 登録数
			図書	歴史情 報	映像情 報	行政文 書	古文書	考古資 料	その他						
4	213	8	168	7	0	11	20	3	4	66	132	11	7,265	372	103
5	283	10	247	10	0	7	9	5	5	75	44	5	7,360	125	28
6	281	11	249	5	0	7	13	1	6	90	146	9	6,700	139	284
7	306	12	269	2	0	13	10	8	4	100	71	3	8,153	236	68
8	707	25	610	10	0	27	28	9	23	86	1,630	4	8,766	118	58
9	416	17	361	7	0	3	23	8	14	91	331	7	10,833	123	74
10	331	17	285	6	0	4	9	18	9	32	79	7	14,521	25	36
11	220	13	186	1	0	10	10	1	12	30	187	3	13,007	158	113
12	297	12	261	2	0	4	11	15	4	62	164	6	7,577	90	97
1	343	14	303	4	0	5	25	2	4	68	149	11	8,740	123	32
2	385	18	351	0	0	14	9	0	11	64	127	2	6,831	75	178
3	244	9	207	0	0	11	9	0	17	92	65	5	8,126	254	73
計	4,026	14	3,497	54	0	116	176	70	113	856	3,125	73	107,879	1,144	1,838

III 利用者

令和元年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		巡回展		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		利用者計
	観覧者数	日数	観覧者数	日数	受講者等数	日数	受講者等数	日数	観覧者数	日数	受講者数	日数	
4	3,533	26	3,046	26			1,797	12	213	26	471	4	9,060
5	6,839	27	5,665	27			4,720	17	283	27	43	1	17,550
6	5,062	26	3,424	20			3,691	26	281	26	223	5	12,681
7	3,623	26	2,376	22	74	4	2,136	18	306	26	149	5	8,664
8	2,377	28	2,126	17	1,161	28	2,256	12	707	28	439	4	9,066
9	3,907	25	3,280	20	310	14	2,043	16	416	25	585	10	10,541
10	6,948	27	5,656	13	1,654	22	1,474	16	331	20	75	4	16,138
11	12,822	27	11,859	23	795	9	864	6	220	17	268	5	26,828
12	1,380	24	1,205	24			544	7	297	24	174	4	3,600
1	1,831	24	1,683	24			607	13	343	24	35	1	4,499
2	1,105	21	390	2			439	10	385	21	62	1	2,381
3	826	26	240	6			0	0	242	26	0	0	1,308
計	50,253	307	40,950	219	39,94	77	20,571	153	4,024	290	2,524	44	122,316

※巡回展の会場：塩尻市立平出博物館(7月27日～9月16日)、飯田市立美術博物館(10月5日～11月10日)

入館者数等推移

区分 年度	常設 展示室	企画 展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閱覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
令和元年度	54,247	40,950	23,095	4,024	122,316
合計	1,266,301	823,128	337,471	208,387	2,635,287

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数 夏企=企画展 春季=季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3~12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃 -江戸時代の村や町-	7/15~8/20 32日	7,095
	秋企 信濃における戦国争乱の世界	10/21~11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生 -北村遺跡に生きた人々-	7/20~8/25 32日	8,228
	秋企 木簡が語る古代の信濃 -掘り出された地方行政とくらし-	10/5~11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会-明治期における長野県の世界の交流-	7/19~8/24 32日	5,538
	秋企 長野県にみる世界の文化 -シルクの歴史と文化-	10/12~11/16 31日	7,011
	館蔵品展 平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31~3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5~6/20 14日	-
	夏企 古代シナの武器と馬具 -古墳時代の武人のすがた-	7/18~8/23 32日	5,950
	秋企 諏訪信仰の祭りと文化	10/17~11/23 33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4~5/9 33日	9,866

夏企	信濃名宝展 -鎌倉時代の文化財-	10/17~11/23	33日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 -江戸時代 信濃の科学技術-	7/16~8/22	38日	7,321
考古資料特別公開	躍動する縄文土器-新指定重要文化財群代田町川原田遺跡出土品とその周辺-	1/15~2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 -ともに生きた人びとの記録-	10/9~11/14	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち -信濃古道をたどる-	7/22~8/27	32日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12~1/28	36日	2,117
平成13年度 節蔵品展	屏風の世界	5/29~7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20~9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう -19世紀北信濃の文芸ネットワーク-	10/2~11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3,431
平成14年度テーマ	北村縄文人の時代 -仮面土偶をつくった人びと-	5/25~6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 -信山育材-	7/20~9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 -信濃二十六宿と間宿-	10/5~11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 -田中平八コレクションと北信濃の雛人形-	1/25~3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん -秘仏の寺ものがたり-	5/16~6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえ-伝えたい古人の心と技-	7/15~8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ原爆展-風化させてはならない歴史-	9/27~10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 -唱歌・童謡のふるさと信州-	9/27~11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 -石器時代の槍と斧-	1/10~2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 -子どもの祝い-	1/10~2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り -古代のまつり-	5/22~6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 -街道を行き来した人・物・文化-	7/17~8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 -義仲から幸村まで-	10/2~11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	462
冬季	天下の糸平 -横浜を目指した信州の生糸商人たち-	1/29~3/6	32日	2,954
平成17年度特別展	里帰りした赤羽刀 -GHQ接收刀の輝き-	5/21~6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの縄文伝説-屋代遺跡群 愛と出会いの4千年-	7/16~9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語-団十郎も須磨子もやってきた-	10/1~11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 -身だしなみとよそおい-	1/28~3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代-瀬田塚・米山-政寄附資料を中心に-	5/19~6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 -時代を駆けた草莽たち-	7/22~8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち -信州の一五年戦争-	9/30~11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ -新指定長野県宝と歴史館のお宝-	11/25~1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見-長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19~7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 -わたしの城下町-	7/21~8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島 -新発見考古速報展-	9/1~9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 -雛人形と郷土の人形-	1/26~3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る -縄文から近世まで-	5/24~6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何?安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ -長野県宝と歴史館のお宝-	12/13~3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰-流転と遍歴の勅化-	4/11~6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 -歴史を記録した先人たち-	8/1~9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う -信州弥生文化の確立-	9/26~11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲ-諏訪地域の“いのり”と“まつり”-	12/12~2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り	5/29~7/11	38日	8,728

夏季	あの世への想いー日本人はどのように埋葬されてきたかー	7/31~8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺	9/18~11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳー文字のちからー	12/11~2/27	61日	2,741
平成23年度 春企	武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー	5/28~7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬくー信濃武士市河氏の400年ー	7/23~9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方ー浮世絵版画から観光パンフレットまー	9/23~11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴー郷土のお宝『重文・県宝』を見ようー	12/10~2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10~5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民ー三つの大日向をたどるー	5/26~7/16	45日	8,871
夏季	戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る	7/28~9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展	9/15~11/4	44日	6,871
	” 後期展	11/10~12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品ー姫君様の婚礼道具から雛人形までー	1/12~3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史 ー大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球ー	6/29~8/18	45日	4,608
秋企	刃が語る信濃	9/14~11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害ー戊の満水と善光寺地震ー	11/23~1/19	41日	2,573
館藏品	戦前の観光信州	2/1~3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014ー長野県埋蔵文化財センター速報展ー	3/21~6/1	65日	12,680
平成26年度				
館藏品	歴史に煌めく日本の美	6/14~7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きるー「信州山の日」制定を記念してー	7/26~8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014 (伊那会場)	7/19~8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断	9/27~11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展	11/29~2/1	45日	2,131
平成27年度 春企	山と海の廻廊をゆく	(4/1) ~5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30~7/12	37日	8,332
夏企	長野県民の1945	7/25~9/15	45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史	10/9~11/29	49日	6,570
冬企	地図の明治維新	12/9~2/28	58日	2,838
巡回展	長野県の遺跡発掘2016	3/12~6/26	95日	18,438
平成28年度 夏企	夢をのせた信州の鉄道	7/9~8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝	9/17~11/27	61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町	12/17~2/26	55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18~ (3/31)	12日	973
平成29年度巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1~6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生	7/8~8/28	46日	3,089
秋企	進化する縄文土器	9/16~11/26	61日	7,727
冬季	博物館の父は信州人	12/16~2/25	54日	2,292
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17~ (3/31)	12日	606
平成30年度巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1~6/3	56日	8,485
夏企	君は河童を見たか!	6/16~7/29	38日	5,594
秋企	最古の信州ブランド黒曜石	9/15~11/25	62日	8,848
冬季	自然を見つめた田淵行雄	12/15~2/17	50日	3,063
巡回展	長野県の考古学2019	3/16~ (3/31)	13日	858
平成31年度巡回展	長野県の考古学2019	4/1~6/23	73日	12,117
夏季	長野県立歴史館の名品	7/6~8/18	39日	3,840
秋企	小笠原三代	9/7~10/14	33日	5,049
特別企画	土偶展 国宝土偶	10/26~11/10	16日	15,041

特別企画	土偶展 中部高地の土偶	11/23~2/2 57日	4,127
巡回展	長野県の考古学2020	3/25~(3/31) 6日	240

ミニ展示 「県歌50年」作詞家「浅井湧の書を見る」965人 26日

ミニ展示 信州の「野球史 夏」996人 32日

ミニ展示 「平成とともに歩んだ歴史館」(ポスター展) 1,121人 50日

IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (件)	増加数 (件)	図書 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲13,714
29年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454
元年度	2,328	8	134,573	2,537	29,222	18	346,729	35,276

※考古資料の総数は、移管残り資料の移管があったが整理できず、整理後の増減を含めた年度末収納数。

28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

一日誌

- 4月 20日(土) 2019年巡回展「長野県の考古学」講演会
- 5月 5日(日) 歴史館でこどもの日
- 16日(木) 長野県博物館協議会総会(伊那市~17日)
- 18日(土) 信州学講座①、古文書講座上級①、古文書演習
- 25日(土) 考古学講座①
- 30日(木) 北信越博物館協議会総会(上越~31日)
- 6月 1日(土) 古文書講座中級A①
- 2日(日) 古文書講座初級A①
- 6日(木) 全国公文書館長会議(東京~8日)
- 8日(土) 信州学講座②
- 13日(木) 古文書講座初級B①、古文書講座中級B①
- 15日(土) 古文書講座上級②
- 16日(日) 考古学セミナー①
- 20日(木) 県史料協史料保存講習会①・総会(諏訪市)
- 23日(日) 2019年巡回展「長野県の考古学」長野県立歴史館会場終了
- 7月 3日(土) 全国博物館館長会議(東京)
- 5日(金) 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」オープニングセレモニー
- 6日(土) 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」開始、古文書講座中級A②
- 7日(木) 古文書講座初級A②
- 10日(水) 人権研修会
- 11日(木) 古文書講座初級B②、古文書講座中級B②、県総合教育センター研修
- 18日(木) 「国宝土偶展」地域関係者連絡会議①
- 20日(土) 古文書講座上級③、考古学講座②
- 24日(水) 歴史館協議会
- 27日(土) 2019年巡回展「長野県の考古学」塩尻会場開始
- 31日(火) 信州大学免許講習①
- 8月 1日(水) 信州大学免許講習②
- 3日(土) 古文書講座中級A③
- 4日(日) 古文書講座初級A③、「歴史館で夏休み」イベント
- 8日(木) 古文書講座初級B③、古文書講座中級B③、土偶研究会
- 10日(土) 2019年巡回展「長野県の考古学」塩尻会場シンポジウム
- 17日(土) 古文書講座上級④
- 18日(日) 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」終了
- 22日(木) 「国宝土偶展」地域関係者連絡会議②
- 24日(土) 信州学講座 in 上田
- 9月 4日(土) 博物館実習開始(~14日)
- 6日(金) 秋季企画展「戦国 小笠原三代」オープニングセレモニー
- 7日(土) 秋季企画展「戦国 小笠原三代」開始
- 11日(水) 交通安全研修
- 12日(木) 古文書講座初級B④、古文書講座中級B④
- 14日(土) 古文書講座中級A④、秋季企画展講演会
- 15日(日) 古文書講座初級A④、2019年巡回展「長野県の考古学」塩尻会場終了
- 21日(土) 古文書講座上級⑤、秋季企画展講座、信州学講座 in 箕輪
- 28日(土) 企画展講座
- 10月 3日(木) 古文書探訪会(松本市)、「国宝土偶展」地域関係者連絡会議③
- 5日(土) 2019年巡回展「長野県の考古学」飯田会場開始、遺跡探訪会(新潟)、企画展講座
古文書講座中級A⑤
- 6日(木) 古文書講座初級A⑤
- 10日(木) 古文書講座初級B⑤、古文書講座中級B⑤

- 12日(土) 2019年巡回展「長野県の考古学」飯田会場シンポジウム(台風19号のため中止)
- 13日(日) 秋季企画展「戦国 小笠原三代」講演会(台風19号のため中止)
- 14日(月) 秋季企画展「戦国 小笠原三代」終了
- 19日(土) 信州学講座③
- 25日(金) 特別企画土偶展 前期「国宝土偶」オープニングセレモニー
- 26日(土) 特別企画土偶展 前期「国宝土偶」開始
- 27日(日) 特別企画土偶展講演会
- 30日(水) 千曲市の日(企業等協賛の日)
- 11月9日(土) 特別企画土偶展講演会
- 10日(日) 特別企画土偶展 前期「国宝土偶」終了
- 14日(木) 全史料協全国大会(安曇野市～15日)
- 16日(土) 信大免許講習③
- 17日(日) いい育児の日(子育て家庭優待日)
- 22日(金) 特別企画土偶展 後期「中部高地の土偶」オープニングセレモニー
山梨県立考古博物館との連携協定調印式
- 23日(土) 特別企画土偶展 後期「中部高地の土偶」開始、
群馬県立歴史博物館との連携協定調印式
- 30日(土) KOAの日(企業等協賛の日)、クリスマスリース作り
- 12月1日(日) 考古学セミナー②
- 7日(土) 信州学講座④
- 8日(日) 近世史セミナー
- 14日(土) 考古学講座③
- 18日(水) 考古資料保存処理講習会
- 1月13日(月) 特別企画土偶展 後期「中部高地の土偶」こどもイベント
- 18日(土) 土偶報告会
- 19日(日) 土偶シンポジウム
- 25日(土) 信州学講座 in 安曇野
- 2月1日(土) 特別企画土偶展 後期「中部高地の土偶」こどもイベント表彰式
- 2日(木) 特別企画土偶展 後期「中部高地の土偶」終了
- 8日(土) 信州学講座⑤
- 14日(金) 信州大学学芸員資格取得講座
- 20日(木) 県史料協史料保存講習会③(～21日)
- 22日(土) 信州学講座⑥(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 27日(木) 県博協博物館職員研修会(～28日)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 3月7日(土) 信州学講座⑦(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 18日(水) 春季展「長野県の考古学」開始
- 25日(水) ティーンズ古文書講座(～28日)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

長野県立歴史館年報 第22号
2019年度（令和元年度）

2020(令和2)年7月17日発行

編集・発行 長野県立歴史館
〒387-0007 千曲市屋代260-6
TEL 026-274-2000 (代表)
FAX 026-274-3996
